長野県信濃美術館

平成30年度　館報　　21

目次

はじめに　5

1 美術館概要
(1) 特徴　6
(2) 沿革　7
(3) 美術館協議会、信濃美術館整備に向けての経過　8
(4) 長野県信濃美術館条例　9
(5) 長野県信濃美術館規則　11
(6) 歴代館長　12

2 展覧会概要　13

3 各展覧会の記録
(1) 長野県信濃美術館交流名品展　14
(2) 移動展　18
(3) 触れる美術展　20

4 学習事業
(1) 学校との連携事業　22
(2) 造形教育作品等の貸出　23
(3) 学習プログラム調査　24

5 交流事業
(1) 講演会・ワークショップ　25
(2) 交流事業調査　27

6 収蔵品貸出　28
MIDORI 展示　31

7 作品修復　32

8 我が国の現代美術の海外発信事業
松澤宥「プサイの部屋」アーカイブ事業　34

9 地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業
松澤宥アーカイブ活用実行委員会　35

10 広報
(1) 広報調査　36
(2) ニューズレター　37

はじめに

長野県信濃美術館の東山魁夷館（平成2年開館）は改修のため、その本館（昭和41年開館）は半世紀余にわたって皆様に親しまれてきた建物を取り壊して新築するために、昨年度相次いで休館に入りました。

新しい建物の実施設計が進むなか、今年度は本館取壊しのため5月に仮事務所を長野県南俣庁舎に設けて、休館中の継続事業や、休館中にしかできない展覧会事業などを進めてまいりました。コレクションの展示に関しては、従来からの移動展（塩尻総合文化センター、長野県飯田創造館、ホクト文化ホール）に加えて、展示内容に関する開催館との綿密な協議を経て、2つの交流名品展を市立小諸高原美術館・白鳥映雪館と信州高遠美術館で開いたほか、「触れる美術展2018　手から始めよう」（ギャラリープラザ長野）を開催し、昨年度に引きつづき好評を得ました。そのほか「信濃美術をみつめる『描くこと　この地との出会い』」展（茅野市美術館）、「長野県信濃美術館名品展」（高崎市タワー美術館）など大口の貸出が相次ぎ、京都国立近代美術館と国立新美術館で開かれた「生誕110年　東山魁夷展」では、当館の所蔵する東山魁夷のすばらしい作品60余点をお楽しみいただきました。また、長年にわたって特色ある所蔵品によって知られてきた信濃デッサン館のコレクションを収蔵（33点購入、357点受贈）することによって、村山槐多・関根正二・野田英夫など長野県とゆかりの深い作家たちの多くの貴重な作品が収蔵されたことも、ご報告させていただきます。

学習事業や交流事業は、信濃美術館が今後これまで以上に力を入れて取り組んでいく事業分野です。

学習事業（美術館教育／鑑賞教育）については、今年度は小・中・高等学校への出張事業4件（7日間）、長野養護学校や信州大学医学部附属病院など幼保・特別支援学校・院内学級への授業協力10件、実技を取り入れた学校および社会教育施設との連携事業8件を実施したほか、県内各地で開かれる教職員の研修会などにも積極的に参加いたしました。

交流事業としては、交流名品展開催などを機に「館長がガイドする！　信州アートトレッキング　信濃美術館コレクション散さく」を実施し、また移動展では担当学芸員によるギャラリー・ガイドを行いました。善光寺びんずる市に際して美術家・工芸家の協力のもと各種ワークショップを開いたのは例年のとおりですが、こういった地域連携以外に、今年度はトークセッション「この山どこの山？　描かれた信州の山　大捜索」を県立長野図書館とともに主催し、また一昨年に信州大学附属図書館主催、県立長野図書館・長野県立歴史館・長野県信濃美術館共催で始まった「信州　知の連携フォーラム」に今年も参加しました。文化庁の補助金および委託事業費を受けて実施された松澤宥の作品群「プサイの部屋」の調査と記録作成、ワークショップやシンポジウム開催なども、（一財）松澤宥プサイの部屋および地元・下諏訪の研究者等との連携事業でした。交流や連携事業の相手は、地域社会や大学・博物館・図書館以外にも、アーティスト・イン・レジデンスに取り組んでいる市町村、美術家グループなど多岐にわたります。今年度は、開館後の事業展開を視野に入れて、そういったさまざまな機関や団体の調査にも力を入れました。

東山魁夷館は本年10月5日にリニューアル・オープンいたします。また本館は2021年春にまったく新しい姿に生まれ変わって開館を予定しておりますので、たのしみにお待ちください。

平成31年3月

長野県信濃美術館
館長　松本 透

特徴

長野県信濃美術館

長野県信濃美術館は、善光寺に隣接する城山公園内に、「長野県に美術館をたてよう」という県民の声を受けて昭和41年に財団法人として発足し、同44年に県に移管されて以来、信州における唯一の県立美術館として活動しています。郷土作家の作品、美しい自然に恵まれた信州の風景画を中心とした収蔵品の公開と、年に4回程の企画展を開催、また、美術団体などに作品発表の場も提供しています。

■長野県信濃美術館　企画展　4つの柱

長野県信濃美術館では、収蔵品展の他に、以下の4つの柱に基づく企画展を開催し、様々な芸術や文化と出合う機会を提供します。

1. 長野県ゆかりの作家や文化を紹介する「学ぶよろこび（信州の美術）」

県出身作家や地域文化の顕彰は、県立美術館の欠かせない活動です。県出身作家や地域文化を地道に調査し、顕彰する展覧会を行っていきます。

2. 国内、世界の作品を紹介する「好奇心を刺激する（多様な美術）」

多くの人に質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供するという、県立美術館としての責務を果たす展覧会を行っていきます。

3. 美術になじみのない県民に対し、参加体験をとおして、美術を楽しむ心を醸成する「美術との出会い（楽しむ心づくり）」

子どもの頃に美術館で楽しい体験をしてこなかった人は、大人になってもなかなか美術館に足を運ぶことはありません。美術鑑賞を将来楽しむ人々を育てるために、子どもたちが楽しみながら美術に親しめる展覧会を行います。

4. 深い精神性を表現した作品を紹介する「心のやすらぎ（いのりの美術）」

生きる歓びとともに命の儚さに対する悲しみ、なぐさめも、多くの美術によって表現されています。深い精神性を湛える美術作品をとおして、心のやすらぎを感じられる企画展を開催します。

東山魁夷館

東山魁夷（ひがしやま かいい）館は、長野県が日本画家・東山魁夷（1908-1999）から作品と関係図書の寄贈を受け、長野県信濃美術館に併設して建設され、平成2年4月に開館しました。収蔵作品数は現在、960点余に及びます。およそ2カ月に一度の割合で展示替えをし、「風景は心の鏡である」という東山芸術の世界をお楽しみいただいております。

沿革

昭和40年３月23日　財団法人 信濃美術館設立
昭和41年５月28日　財団法人 信濃美術館新築工事完成
（建設費 １億円）
昭和41年10月１日　信濃美術館開館
（敷地面積：7,946平方メートル 延床面積：1,826平方メートル）
昭和44年６月１日　同美術館を長野県に移管し、長野県信濃美術館発足
昭和45年10月15日　昭和45年５月着工の第二展示棟増築工事完成
（延床面積：654平方メートル）（建設費 6500万円）
昭和49年３月29日　昭和48年12月着工の収蔵庫増築工事完成
（延床面積：333平方メートル）（建設費 5192万円）
昭和54年７月12日　長野県美術品取得基金条例制定
昭和61年４月１日　管理運営を財団法人 長野県文化振興事業団に委託
昭和62年９月22日　東山魁夷作品寄贈目録贈呈式
昭和62年11月20日　東山魁夷館の基本構想発表
平成元年12月25日　平成元年８月着工の信濃美術館改修工事完成
平成２年４月26日　東山魁夷館開館
（着工：昭和62年12月 完成：平成２年２月
敷地面積：4,675平方メートル 延床面積：1,698平方メートル）
（建設費 11億円）
平成11年７月15日　東山魁夷館延入館者数200万人達成
平成15年３月31日　東山魁夷館側駐車場増設工事完成
（40台から90台へ）
平成18年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成21年３月31日）
平成20年７月17日　東山魁夷館延入館者数300万人達成
平成21年４月１日　財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成26年３月31日）
平成25年４月１日　公益法人制度改革に伴い一般財団法人へ移行
平成26年４月１日　一般財団法人長野県文化振興事業団を指定管理者とし、管理運営を委託
（～平成31年３月31日）
平成28年10月１日　長野県信濃美術館開館50周年
平成29年５月31日　東山魁夷館　改修の為、休館
平成29年10月１日　長野県信濃美術館　全面改築の為、休館
平成30年５月１日　長野県信濃美術館事務所　全面改築の為、長野県南俣庁舎へ移転

美術館協議会、信濃美術館整備に向けての経過

※松本透館長が、以下の会合に参加

実施設計に向けた意見交換会（主な対象者：子育て世代）
開催日　平成30年5月30日
内容　　県民参加による美術館づくり

実施設計に向けた意見交換会（主な対象者：美術関係者）
開催日　平成30年6月19日
内容　　県民参加による美術館づくり

実施設計に向けた意見交換会（主な対象者：障がいがある方など）
開催日　平成30年7月10日
内容　　県民参加による美術館づくり

第5回整備委員会
開催日　平成30年9月27日
内容　　実施設計の報告・意見交換　等

県民フォーラム（第4回）
開催日　平成30年12月15日／16日
内容　　実施設計の説明、意見交換　等

第6回整備委員会
開催日　平成31年3月18日
内容　　事業の柱とスタッフ配置、寄付募集の協議　等

長野県信濃美術館条例

（昭和44年月31日　条例　第32号）

（趣旨）

第１条　この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号）及び地方自治法（昭和22年法律第67号）の規定に基づき、博物館の設置及び管理等に関し必要な事項を定めるものとする。

（設置）

第２条　美術に関する資料を収集し、保管し、展示して一般住民の利用に供し、その教養、調査研究等に資するため、長野県信濃美術館（以下「美術館」という。）を長野市に設置する。

（職員）

第３条　美術館に、博物館法第4条第1項及び同条第3項に規定する職員のほか、事務職員、技術職員その他の所要の職員を置く。

（協議会）

第４条　美術館に、博物館法第20条の規定による美術館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

２　協議会の委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が任命する。

３　協議会の委員の定数は10人以内とし、その任期は2年とする。ただし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

（利用の許可）

第５条　美術館を利用しようとする者は、次条の規定によりその管理を行わせる指定管理者（地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者をいう。以下同じ。）の許可を受けなければならない。

全部改正〔昭和55年条例23号〕、一部改正〔平成17年条例59号〕

（指定管理者による管理）

第６条　美術館の管理は、指定管理者に行わせるものとする。

（指定管理者の指定）

第７条　指定管理者の指定は、美術館の管理を行うことを希望するものの申請によりその候補者を選定し、議会の議決を経て行うものとする。

（指定の申請）

第８条　前条の申請は、教育委員会が定める日までに、教育委員会規則で定めるところにより、申請書に事業計画書（職員、美術館の管理の方法その他の美術館の管理業務の実施に関する計画を記載した書類をいう。次条において同じ。）その他教育委員会規則で定める書類を添付して行うものとする。

（候補者の選定の基準）

第９条　第7条の候補者の選定は、次に掲げる基準により行うものとする。

(1) 事業計画書の内容が、美術館の公共性を確保し、かつ、美術館の効用を最大限発揮するとともに、その管理に係る経費の縮減が図られるものであること。

(2) 一般住民の平等な利用が確保されること。

(3) 事業計画書の内容の確実な実施に必要な経理的及び技術的な基礎を有するものであること。

(4) 指定管理者が行う業務について相当の知識及び経験を有する者を当該業務に従事させることができること。

(5) 県内において芸術文化の振興に寄与する活動を行っているものであること。

(6) 地方自治法第244条の2第11項の規定により指定管理者の指定を取り消され、その取消しの日から2年を経過しないものでないこと。

（指定の告示）

第10条　教育委員会は、指定管理者の指定をしたときは、当該指定管理者の名称及び主たる事務所の所在地並びに当該指定の期間を告示しなければならない。

追加〔平成17年条例59号〕、一部改正〔平成20年条例17号〕

（業務の範囲）

第11条　指定管理者が行う業務の範囲は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術作品を保管し、及び展示するとともに、一般住民に対して当該美術作品に関し必要な説明を行うこと。

(2) 施設及び設備の維持管理に関する業務

(3) 美術館の利用の許可に関する業務

(4) 美術館の利用に係る料金（以下「利用料金」という。）に関する業務

(5) 博物館法第3条第1項第4号から第10号までに掲げる事業に関する業務

(6) 前各号に掲げる業務に附帯する業務

（管理の基準）

第12条　指定管理者が行う管理の基準は、次に掲げるとおりとする。

(1) 美術館の休館日について、水曜日（その日が国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178

号）に規定する休日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、木曜日）、休日の翌日及び12月28日から翌年1月3日までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更し、又は臨時に休館日を設けることができる。

(2) 美術館の利用時間について、午前9時から午後5時までとすること。ただし、指定管理者は、特に必要があると認めるときは、あらかじめ教育委員会の承認を得て、これを変更することができる。

(3) 美術館の利用の停止及び許可の取消しについて、展示資料等を汚損した場合その他の教育委員会規則で定める場合に行うことができるものとすること。

(4) 美術館の管理上著しく支障があると認められる者の入館を禁止し、又は退館を命ずることができること。

(5) この条例及び次条の規定による協定を遵守して行うこと。

(6) 指定管理者がその業務を行うに当たって取得した利用者の個人に関する情報を適切に取り扱うこと。

(7) 前各号に掲げるもののほか、美術館の管理を適切に行うために必要な基準で教育委員会が定めるもの

（協定の締結）

第13条　教育委員会及び指定管理者は、次に掲げる事項について、協定を締結するものとする。

(1) 地方自治法第244条の2第7項に規定する事業報告書に関する事項

(2) 利用者の個人に関する情報の取扱いに関し必要な事項

(3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関し必要な事項

（利用料金の納付等）

第14条　美術館の展示資料を観覧する者又は展覧会等の開催のため美術館の展示施設を利用する者は、利用料金を納付しなければならない。

2　利用料金は、指定管理者の収入として収受させるものとする。

3　利用料金の額は、別表に定める額の範囲内において、あらかじめ知事の承認を得て、指定管理者が定めるものとする。

（利用料金の減免）

第15条　指定管理者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ、特に必要があると認めるときは、利用料金について知事が定める額を基準とした額を減免することができる。

(1) 国又は地方公共団体が、教育、学術及び文化の向上を図るため、展覧会、講演会、研修会その他これらに類するものに利用するとき。

(2) 前号に定めるもののほか、知事が定める特別の理由があるとき。

（管理等の委任）

第16条　この条例に定めるもののほか、美術館の管理等及び協議会の運営に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

（施行期日）

1　この条例は、昭和44年6月1日から施行する。

2　この条例は、平成26年4月1日から施行する。

（別表）（第14条関係）

区　分			単　位	金　額
展示資料を観覧する場合	常設に係る展示資料を観覧する場合		1回について	500円
	特別企画に係る展示資料を観覧する場合		〃	1,400円
展示施設を利用する場合	入場料を徴収して利用する場合	大展示室	1室1日について	24,000円
		小展示室	〃	12,000円
	入場料を徴収しないで利用する場合	大展示室	〃	14,000円
		小展示室	〃	7,000円

長野県信濃美術館規則

（昭和44年5月19日　教育委員会規則第6号）

（趣旨）

第１条　この規則は、長野県信濃美術館条例（昭和44年長野県条例第32号。以下「条例」という。）第16条の規定により、長野県信濃美術館（以下「美術館」という。）の管理等及び美術館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（協議会）

第２条　条例第4条の規定による協議会は、長野県教育委員会（以下「教育委員会」という。）が召集する。

２　協議会を分けて定例会及び臨時会とし、定例会は毎年2回、臨時会は必要に応じて召集する。

３　協議会に幹事2名を置き、幹事は教育委員会が指名する。

（利用の許可等）

第３条　美術館の展示施設を利用する者は、条例第5条の規定による許可を受けようとするときは、次に掲げる事項を記載した申請書を条例第6条の規定により美術館の管理を行う指定管理者（以下「指定管理者」という。）に提出して申請しなければならない。

⑴　利用目的

⑵　利用する展示施設の名称

⑶　利用期間

⑷　入場料を徴収する場合にあっては、その旨

⑸　前各号に掲げるもののほか、指定管理者が利用の許可を行うために必要と認める事項

２　美術館の展示資料を観覧する者は、条例第5条の規定により許可を受けようとするときは、指定管理者に口頭により申請しなければならない。

３　指定管理者は、第1項の申請に対し展示施設の利用を許可したときはその利用許可書を、第2項の申請に対し展示資料の観覧を許可したときは入場券を交付しなければならない。

（利用取消届）

第４条　前条第3項の規定による利用許可書の交付を受けた者が、展示施設の利用の申請の取消しをしようとするときは、当該利用開始日前7日までに、その理由を記載した届出書に当該利用許可書を添付して、指定管理者に提出しなければならない。

（遵守事項）

第５条　美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

⑴　展示施設、展示資料等をき損し、又は汚損しないこと。

⑵　美術館内においては、静粛にし、他人に迷惑をかけないこと。

⑶　所定の場所以外で飲食し、又は喫煙しないこと。

⑷　前3号に掲げるもののほか、指定管理者が教育委員会の承認を得て定める事項

（利用後の処理と損害の賠償）

第６条　利用者は、利用を終わったときは、その旨を指定管理者に届け出なければならない。

２　利用者は、展示施設、展示資料等をき損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに指定管理者に届け出て、その指示に従い、原状に復し、又はその損害を賠償しなければならない。

（指定の申請）

第７条　条例第8条の申請書は、指定管理者指定申請書（別記様式）によるものとする。

２　条例第8条の教育委員会規則で定める書類は、次に掲げる書類とする。ただし、条例第7条の申請を行うもの（以下この項において「申請者」という。）について教育委員会がその性格に応じ前項の申請書に添付することを要しないものと認める書類がある場合には、当該書類を除く。

⑴　定款若しくは寄附行為及び登記事項証明書又はこれらに準ずるもの

⑵　申請の日の属する事業年度の前3年の各事業年度における申請書の事業の状況を記載した書類、貸借対照表及び損益計算書若しくは収支計算書又はこれらに準ずるもの

⑶　申請の日の属する事業年度及び翌事業年度における申請者の事業の実施及び収支に係る計画を記載した書類

⑷　役員の名簿及び履歴書

⑸　申請者が現に行っている業務の概要を記載した書類

⑹　申請者が条例第9条第6号に該当する旨の誓約書

⑺　前各号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める書類

（利用の停止又は許可の取消しを行うことができる場合）

第８条　条例第12条第3号の教育委員会規則で定める場合は、第5条の規定に違反した場合とする。

（補則）

第９条　この規則に定めるもののほか、美術館の管理等について必要な事項は、教育委員会が定める。

附　則

この規則は、昭和44年6月1日から施行する。

附　則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

様　式（省略）

歴代館長

歴代館長

山　田　邦　夫	昭和41年10月１日～昭和44年５月31日	※財団法人　信濃美術館
西　沢　千　秋	昭和44年６月１日～昭和46年11月30日	※財団法人から県に移管
宮　沢　　寿	昭和46年12月１日～昭和47年11月30日	
藤　森　治　幸	昭和47年12月１日～昭和53年３月31日	
鵜　野　　孝	昭和53年４月１日～昭和57年１月31日	
大　友　博　幸	昭和57年２月１日～昭和57年３月31日	教育次長兼
竹　本　春　男	昭和57年４月１日～昭和58年３月31日	
佐　藤　義　人	昭和58年４月１日～昭和59年３月31日	
伊　藤　万寿雄	昭和59年４月１日～昭和60年３月31日	
三　沢　国　臣	昭和60年４月１日～昭和61年３月31日	
山　本　正　男	昭和61年４月１日～平成14年３月31日	※長野県文化振興事業団に管理運営を委託
松　本　　猛	平成14年４月１日～平成22年４月30日	
橋　本　光　明	平成23年４月８日～平成30年３月31日	
松　本　　透	平成30年４月１日～現在に至る	

展覧会概要

(1) 長野県信濃美術館 交流名品展

会場名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
市立小諸高原美術館・白鳥映雪館	12/1～12/24	21	294	464	14		133	905
信州高遠美術館	2019年2/23～3/31	31	703	580	11			1,294
計		52	997	1,044	25	0	133	2,199

(2) 長野県信濃美術館 移動展

会場名	会期	日数	入場者数					
			有料	招待等	高校生以下	学校減免	障害者減免	計
塩尻市　塩尻総合文化センター　講堂	9/3～9/9	7	178	84	5		16	283
飯田市　長野県飯田創造館	2019年2/7～2/19	12	624	76	10		22	732
長野市　ホクト文化ホール	2019年3/9～3/17	7	283	22	21		20	346
計		26	1,085	182	36	0	58	1,361

(3) 長野県信濃美術館 関連事業

展覧会名	会期	日数	入場者数	使用会場
触れる美術展2018 手から始めよう	12/8～12/16	9	279	ギャラリープラザ長野
計		9	279	

長野県信濃美術館交流名品展

休館中にコレクションの名品をより多くの県民に鑑賞していただくため、また地域の芸術文化のさらなる振興の架け橋となるために、地域の中心となる美術館と共催し、「長野県信濃美術館交流名品展」を開催した。

市立小諸高原美術館・白鳥映雪館は、2018年に開館20周年を迎えた。信濃美術館コレクションのなかから、菱田春草や菊池契月、東山魁夷、中島千波など、近代から現代に至る信州ゆかりの巨匠たちの作品や、地域に馴染みが深い浅間山を描いた風景画などを展示した。

■会期　平成30年12月1日(土)から12月24日(月・振休)
(21日間)
■会場　市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
■主催等　(主催)市立小諸高原美術館・白鳥映雪館
(共催)長野県、長野県信濃美術館
(後援)信濃毎日新聞社、小諸新聞社、東信ジャーナル社、コミュニティテレビこもろ、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞社長野支局、NHK 長野放送局、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、週刊さくだいら、公益財団法人八十二文化財団
■観覧料　大人500(400)円、小中学生250(200)円、その他割引制度
※(　)内は30名以上の団体料金
■入館者数　905人(有料：294人　無料：611人)
■担当学芸員　瀬尾典昭、鈴木幸野、福士恵子
■イベント　講演会「館長がガイドする！ 信州アートトレッキング　信濃美術館コレクション散さく」／講師：松本透／日時：12月1日(土)11:00～12:30 ／場所：市立小諸高原美術館　第1展示室／参加人数：55人
※手話通訳付き

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	菊池契月	立女	1924	絹本彩色	154.5×170.5
2	菊池契月	早苗	1934	紙本彩色	172.0×77.0
3	東山魁夷	静映	1982	紙本彩色	42.7×85.7
4	菱田春草	牧牛	1893	紙本彩色	51.6×83.4
5	菱田春草	老子	1893	紙本彩色	93.3×135.7
6	町田曲江	迦膩色迦王	1960	絹本彩色	119.0×92.0
7	中島千波	白虹	1972	紙本彩色	175.0×220.0
8	中島千波	眠`89-8	1989	紙本彩色	165.0×220.0
9	白鳥映雪	浄粧	1948	紙本彩色	141.5×119.2
10	倉島重友	影	1978	紙本彩色	170.0×197.7
11	石井柏亭	画室小集	1949	油彩、カンヴァス	110.7×160.8
12	梅原龍三郎	浅間山	1957	油彩、グワッシュ、紙	72.2×90.9
13	岡田三郎助	千ヶ滝	1935	油彩、カンヴァス	40.2×60.2
14	刑部人	千曲川鳥瞰図	1970	油彩、カンヴァス	80.5×100.0
15	神津港人	渓流三女人像	1930	油彩、カンヴァス	130.0×97.0
16	河野通勢	裾花川の河柳	1915	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
17	高田誠	妙高暮色	1978	油彩、カンヴァス	90.9×116.7
18	中川紀元	散華	1962	油彩、カンヴァス	144.0×90.9
19	河野通明	バラ	不明	油彩、カンヴァス	60.6×50.0
20	中村善策	新雪	1945	油彩、カンヴァス	40.8×52.8
21	中村涿二	伊那谷の春	1979	油彩、カンヴァス	91.0×117.0
22	藤島武二	杏花	1933	油彩、カンヴァス	45.5×53.1
23	向井潤吉	丘	1976	油彩、カンヴァス	80.0×100.0
24	安井曽太郎	秋の霞沢岳	1938	油彩、カンヴァス	53.7×69.0
25	山本鼎	淡水のエゲリース	1938	油彩、カンヴァス	45.5×53.6
26	山本鼎	海	1940	油彩、カンヴァス	80.3×100.0
27	横井弘三	浅間山風景	1949頃	油彩、カンヴァス	72.8×91.0
28	吉田博	鑓ヶ岳　杓子岳	1920頃	油彩、カンヴァス	45.5×60.,6
29	小山敬三	盛夏風景	1953	油彩、カンヴァス	80.3×65.2
30	島崎鶏二	夕暮	1939	油彩、カンヴァス	33.4×45.5
31	中村不折	西洋婦人像	1904	油彩、カンヴァス	80.4×53.9
32	小絲源太郎	山村春闌(安茂里)	1943	油彩、カンヴァス	65.2×80.4
33	藤島武二	春(杏花咲く村)	1935	油彩、カンヴァス	33.3×45.7
34	林倭衛	パリ郊外	1922-23	油彩、カンヴァス	45.5×53.0
35	足立源一郎	北穂高南峰	1952	油彩、カンヴァス	61.0×73.0
36	小山敬三	牧尾ダム晩夏	1964	油彩、カンヴァス	79.0×98.5
37	小寺健吉	新緑風景	1964	油彩、カンヴァス	116.7×80.4
38	島崎鶏二	紅衣の婦人	1931	油彩、カンヴァス	128.5×96.5
39	荻原孝一	なごの朝	1966	油彩、カンヴァス	116.9×91.0
40	荻原孝一	錦秋の浅間	1969	油彩、カンヴァス	145.6×97.1
41	川上冬崖	樹木図	不詳	水彩、紙	50.0×34.6
42	丸山晩霞	ローマ郊外	1911-1912	水彩、紙	36.3×27.0
43	池田満寿夫	座せるスフィンクス	1970	ドライポイント、エッチング、紙	29.5×26.0
44	中村直人	大原女	1955	ガッシュ、紙	72.7×60.6
45	高橋節郎	赤いカーテン	不明	漆絵	71.4×59.2

信濃美術館所蔵名品展　―信州ゆかりの作家群像―

市立小諸高原美術館・白鳥映雪館に引き続き、信州高遠美術館と共催し、交流名品展を開催した。

信州高遠美術館の在る伊那市は、中央アルプスと南アルプスに囲まれ、そのあいだを天竜川・三峰川が流れる美しい自然に恵まれている。信濃美術館コレクションの中から、当地を含めた信州各地の風景画や、池上秀畝や江崎孝坪など郷土ゆかりの作家の秀作等約60点を展示した。

■会期　平成31年2月23日(土)から3月31日(日)(31日間)
■会場　信州高遠美術館
■主催等　(主催)伊那市、伊那市教育委員会、信州高遠美術館
(共催)長野県、長野県信濃美術館
(後援)信濃毎日新聞社、中日新聞社、読売新聞長野支局、朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局、日本経済新聞社長野支局、産経新聞長野支局、時事通信社長野支局、共同通信社長野支局、市民新聞グループ(7紙)、アド・コマーシャル、アド・プランニング、(公財)信毎文化事業財団、(公財)八十二文化財団、SBC 信越放送、NBS 長野放送、TSB テレビ信州、abn 長野朝日放送、FM 長野、長野日報社、伊那ケーブルテレビジョン、伊那市有線放送農業協同組合、伊那美術協会、信州美術会伊那支部、伊那市民美術会、伊那市観光協会
■観覧料　大人500(400)円、小中学生150(100)円、その他割引制度
※(　)は30名以上の団体料金
■入館者数　1,294人(有料：703人　無料：580人)
■担当学芸員　瀬尾典昭、鈴木幸野、福士恵子
■イベント　講演会「館長がガイドする！ 信州アートトレッキング　信濃美術館コレクション散さく」／講師：松本透／日時：2月23日(土)11:00～12:00 ／場所：信州高遠美術館　エントランスホール／参加人数：60人
※手話通訳付き

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	池上秀畝	四季花鳥	1918	紙本彩色	各239.4×103.5
2	池上秀畝	秋雨	1932	絹本彩色	161.0×177.51
3	池上秀畝	深山鳴鹿図	不詳	絹本彩色	249.5×116.3
4	中村不折	荒駅晩秋	1929	油彩、カンヴァス	60.6×72.7
5	中村不折	西洋婦人像	1904頃	油彩、カンヴァス	80.4×53.9
6	中村不折	裸婦立像	1903-1904	油彩、カンヴァス	80.4×59.6
7	小坂芝田	深遠	1908	絹本彩色	230.3×99.7
8	小坂芝田	雪景山水図	1911	絹本彩色	229.1×100.5
9	江崎孝坪	手向け	1946	紙本彩色	225.0×160.5
10	登内微笑	霜	1946	紙本彩色	208.8×118.5
11	登内微笑	霧立つ奥木曽の滝	1958	絹本彩色	190.8×90.0
12	登内微笑	蔓紫陽花	1961	紙本彩色	190.8×148.8
13	中川紀元	散華	1962	油彩、カンヴァス	144.0×90.9
14	中川紀元	隅田川	1967	油彩、カンヴァス	100.0×80.3
15	中村琢二	木曽路	1964	油彩、カンヴァス	116.5×91.5
16	中村琢二	伊那谷の春	1979	油彩、カンヴァス	91.0×117.0
17	河野次郎	長野郊外	1892	油彩、カンヴァス	41.1×60.0
18	荻原碌山	女の胴	1907	ブロンズ	h44.5
19	荻原碌山	坑夫	1907	ブロンズ	h47.0
20	荻原碌山	女	1910	ブロンズ	h98.0
21	菱田春草	老子	1893頃	紙本彩色	93.3×135.7
22	菱田春草	常磐津　伏姫	1900	絹本彩色	146.6×67.5
23	菱田春草	羅浮仙	1901頃	絹本彩色	124.5×69.5
24	菱田春草	寂静	1910頃	絹本彩色	107.0×42.0
25	東山魁夷	静映	1982	紙本彩色	42.7×85.7
26	有島生馬	春の浅間山	1946	油彩、カンヴァス	61.0×72.5
27	石井柏亭	野尻湖	1954	油彩、カンヴァス	60.6×72.7
28	石井柏亭	深川木場風景	1914	木版、紙	24.0×17.5
29	石井柏亭	久世山	1914	木版、紙	25.5×16.6
30	梅原龍三郎	浅間山	1957	油彩、グワッシュ、紙	72.2×90.9
31	岡田三郎助	千ケ滝	1935	油彩、カンヴァス	40.2×60.2
32	奥田郁太郎	とり入れのあと	1980	油彩、カンヴァス	72.7×90.6
33	河野通勢	裾花川の河柳	1915	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
34	小山敬三	暮れゆく浅間	1968	油彩、カンヴァス	145.5×97.0
35	小山敬三	天守閣の一隅(白鷺城)	1956	油彩、カンヴァス	91.0×73.0
36	安井曽太郎	秋の霞沢岳	1938	油彩、カンヴァス	53.7×69.0
37	満谷国四郎	野尻湖	1919	油彩、カンヴァス	60.0×72.8
38	辻永	安茂里の杏花	1951	油彩、カンヴァス	50.0×65.5
39	川上冬崖	樹木図	不詳	水彩、紙	30.0×25.5
40	川上冬崖	草花図	不詳	水彩、紙	50.0×34.6
41	丸山晩霞	初夏の志賀高原	1909頃	水彩、紙	67.0×101.0
42	丸山晩霞	山上の潤地	不詳	水彩、紙	101.0×67.0
43	池田満寿夫	虹をのむ女	1965	ドライポイント、ルーレット、エッチング、紙	34.0×36.5
44	池田満寿夫	陽光のように	1981	ドライポイント、アクアチント、ソフトグランド・エッチング、紙	36.5×29.8
45	池田満寿夫	庭の中の女	1987	リトグラフ、紙	54.5×53.8
46	草間彌生	南瓜	1986	セリグラフ、紙	90.5×72.2
47	宮坂勝	上高地林道	1928	油彩、カンヴァス	61.1×72.2
48	伊東深水	避暑地の昼	1941	木版、紙	30.5×43.3
49	伊東深水	信濃十景　野尻湖畔の秋	1948	木版、紙	25.5×36.2
50	伊東深水	信濃十景　浅間山麓の春	1948	木版、紙	25.1×36.0
51	川瀬巴水	信州松原湖	1941	木版、紙	24.3×36.5
52	川瀬巴水	長野県稲荷山	1947	木版、紙	24.4×36.4
53	川瀬巴水	上高地大正池	不詳	木版、紙	36.1×24.0
54	斎藤清	競艶	1973	木版、紙	25.0×29.8
55	吉田博	穂高山	1926	木版、紙	25.0×37.5
56	吉田博	駒ヶ岳山頂より	1928	木版、紙	24.5×37.7
57	向井潤吉	叢の中の家(戸隠中社にて)	1961	油彩、カンヴァス	91.0×116.7
58	菱田春草	鯉	不詳	絹本彩色	45.2×53.8
59	山口進	木曽駒ヶ岳馬の背	1963	木版、紙	85.0×109.5
60	不破章	伊那高遠	1963	水彩、紙	38.0×56.3

長野県信濃美術館移動展

長野県信濃美術館のコレクションをより多くの県民に鑑賞していただくため、各地市町村で開催する移動展覧会。

今年度は信州を代表する美術家の作品を主軸に、信州各地の風景を描いた作品を展示した。また、長野版アートゲームや過去の展覧会ポスター、新美術館の模型を併せて展示し、現在やこれからの美術館の活動を紹介した。

■会場　①塩尻市　(会場)塩尻総合文化センター
(会期)平成30年9月3日(月)～9月9日(日)
(7日間)
②飯田市　(会場)長野県飯田創造館
(会期)平成31年2月7日(木)～2月19日(火)
(12日間)
③長野市　(会場)ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)
(会期)平成31年3月9日(土)～3月17日(日)
(7日間)

■主催等　①塩尻市　(主催)長野県、長野県信濃美術館、塩尻市、塩尻市教育委員会
②飯田市　(主催)長野県、長野県信濃美術館、長野県飯田創造館
(共催)長野県教育委員会
(後援)飯田市、下伊那郡町村会、飯田市教育委員会、飯伊市町村教育委員会連絡協議会、下伊那教育会、南信美術会、信濃毎日新聞社、中日新聞社、南信州新聞社、飯田ケーブルテレビ、飯田エフエム放送
③長野市　(主催)長野県、長野県信濃美術館、一般財団法人 長野県文化振興事業団

■観覧料　大人200円、大学生100円、高校生以下無料、その他割引制度

■イベント　①塩尻市
監視員レクチャー　9月3日(月)　10:00～10:30
参加人数：16人
ギャラリートーク　9月8日(土)　13:30～14:00
参加人数：13人
②飯田市
オープニングセレモニー・内覧会　2月7日(木)
8:50～　参加人数：14人
ギャラリートーク　2月9日(土)　13:30～14:00
参加人数：15人
2月17日(日)　13:30～14:00
参加人数：25人
③長野市
ワークショップ「アートゲームであそぼう！つくろう!」　3月9日(土)　10:00～11:00
参加人数：13人
ギャラリートーク　3月9日(土)　13:30～14:00
参加人数：30人

■入館者数　①塩尻総合文化センター
283人(有料：178人　無料：105人)
②長野県飯田創造館
732人(有料：624人　無料：108人)
③ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）
346人(有料：283人　無料：63人)
計　1,361人(有料：1,085人　無料：276人)

■担当学芸員　福士恵子

塩尻総合文化センター　平成30年9月3日～9月9日

長野県飯田創造館　平成31年2月7日～2月19日

ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)　平成31年3月9日～3月17日

No.	分類	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)	塩尻	飯田	長野
信州を代表する芸術家									
1	版画	池田満寿夫	マリリンの半分	1968	リトグラフ、紙	74.5×57.0	○	○	○
2	日本画	菊池契月	早苗	1934	紙本彩色	172.0×77.0	○	○	○
3	油彩画	小山敬三	浅間山・風	1967	油彩、カンヴァス	53.7×64.8	○	○	○
4	油彩画	宮坂勝	湖畔の並樹(信州木崎湖)	1943	油彩、カンヴァス	91.1×116.6	○	○	○
5	日本画	菱田春草	牧牛	1893	紙本彩色	51.6×83.4	○	○	○
6	油彩画	須山計一	労働者	1930	油彩、カンヴァス	116.7×91.0	○	○	○
日本アルプスの四季									
7	油彩画	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973	油彩、カンヴァス	65.2×80.3	○	○	○
8	油彩画	足立真一郎	初夏の栂池自然園	1980	油彩、カンヴァス	60.6×72.7	○	○	○
9	油彩画	小林和作	秋山(北アルプス山中)	1964	油彩、カンヴァス	65.1×100.0	○	○	○
10	油彩画	曽宮一念	釜無入笠	1957	油彩、カンヴァス	65.1×80.3	○	○	○
山々の合間には									
11	油彩画	中村琢二	中仙道(木曽)	1966	油彩、カンヴァス	116.5×91.0	○	○	○
12	水彩画	不破章	木曾路の宿場(三留野)	1968	水彩、紙	77.5×112.5	○	○	○
13	版画	川瀬巴水	木曽の須原	1925	木版、紙	20.8×28.5	–	○	○
14	油彩画	藤本東一良	伊那の春	1979	油彩、カンヴァス	90.9×116.7	○	○	○
15	油彩画	鈴木信太郎	白樺湖	1962	油彩、カンヴァス	80.3×116.5	○	○	○
16	水彩画	不破章	千曲川(小海羽黒下)	1972	水彩、紙	38.3×56.7	○	–	○
17	版画	伊東深水	信濃十景　北佐久瀧原	1948	木版、紙	25.7×36.2	–	–	○
18	版画	伊東深水	信濃十景　小諸路の暮雪	1948	木版、紙	25.8×36.3	–	–	○
19	油彩画	刑部人	千曲川鳥瞰図	1970	油彩、カンヴァス	80.5×100.0	○	○	○
20	油彩画	中村研一	杏花	1935	油彩、カンヴァス	45.5×53.0	○	○	○
21	版画	笠松紫浪	花吹雪(上林温泉)	1939	木版、紙	24.0×36.1	○	–	○
文化財のある町									
22	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画 14　盆々	1943	水彩、紙	28.5×38.5	○	○	○
23	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画 2　諏訪神社	1943	水彩、紙	28.5×38.5	○	○	○
24	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画 24　上田城と麦踏み	1943	水彩、紙	28.5×38.5	–	○	○
25	水彩画	矢崎重信	『信濃の子供』原画 16　善光寺と鳩	1943	水彩、紙	28.5×38.5	–	○	○
くらしと動物たち									
26	水彩画	小山周次	林檎の花と牛小屋	1957	水彩、紙	56.2×75.5	○	○	○
27	水彩画	不破章	信濃初夏(上田大久保)	1969	水彩、紙	49.0×65.2	○	○	○
28	彫刻	菊池一雄	猫	1946	テラコッタ	24×14.5×12.8	○	○	○
29	彫刻	菊池一雄	兎	1946	テラコッタ	12.8×12.0×24.2	○	○	○
30	版画	池田満寿夫	亥	1995	リトグラフ、紙	50.8×40.0	○	○	○
31	版画	池田満寿夫	戌	1994	リトグラフ、紙	52.6×41.9	○	○	○

触れる美術展2018　手から始めよう
西村陽平×光島貴之

より多くの方々に美術作品を鑑賞していただく事業として「触れる彫刻(美術)展」を、2015年度から毎年度開催してきた。今年度は、視覚以外の感覚を使って楽しむ美術に積極的に関わってきた、西村陽平と光島貴之を迎えて「触れる美術展」を開催した。触れないで鑑賞するのがあたり前と思われてきた美術鑑賞であるが、様々な方法で触れることで温度や触感、質感から生まれる感覚の豊かさを鑑賞者に体感していただいた。

■会期　平成30年12月8日(土)から16日(日)(9日間)
会期中無休 10:00～18:30
■会場　ギャラリープラザ長野
■主催等　(主催)長野県、長野県信濃美術館
■入場料無料
■入館者数　259人
■担当学芸員　木内真由美　鈴木幸野
■イベント　①作家と一緒に手や耳で楽しむおしゃべり鑑賞会／講師：西村陽平 氏(出展作家)／日時：12月8日(土)10：30～12:00、13：30～15:00(この回のみ手話通訳付き)／場所：ギャラリープラザ長野／参加人数：1回目　9人　2回目　12人
②作家と一緒に手や耳で楽しむおしゃべり鑑賞会／講師：光島貴之 氏(出展作家)／日時：12月15日(土)14:00～16:00／場所：ギャラリープラザ長野／参加人数：9人

〈鑑賞補助ボランティア募集〉
ボランティアを募集し、展示作品に触れる案内をしていただいた。

No.	作者名	作品名	制作年	技法材質	寸法(cm)
1	西村陽平	沈黙の土	2003	土・ラジオ・電球	92.0×50.0×50.0
2	西村陽平	沈黙の土	2003	土・ラジオ	92.0×50.0×50.0
3	西村陽平	沈黙の土	2003	土・電球	86.0×50.0×50.0
4	西村陽平	カップを閉じ込めた土	2002	土・カップ	43.0×29.0×29.0
5	西村陽平	土に閉じ込められた陶片	2000	上・陶片	22.0×40.0×26.0
6	西村陽平	土に閉じ込められた陶片	2000	土・陶片	36.0×2.0×13.5
7	光島貴之	今にも飛上りそうなうきうきした気分	2012	板・ゴム・フック・布・紐	90.0×90.0
8	光島貴之	不安な気分	2012	板・点字ブロック・ジェッソ	90.0×90.0
9	光島貴之	重い空気、あるいは違和感	2012	板・布・チェーン・ゴム・ジェッソ	90.0×90.0
10	光島貴之	幸せなところに戻って行く	2012	板・布	90.0×90.0
11	光島貴之	ふきだまり	2018	板・釘	60.0×60.0
12	光島貴之	コーヒー・ブレイク	2018	板・釘	11×152×9
13	光島貴之	夕日に向かって歩く	2018	板・釘	42×62×9

作家と一緒に手や耳で楽しむおしゃべり鑑賞会①

作家と一緒に手や耳で楽しむおしゃべり鑑賞会②

学習事業

1　出張講座

1. 小・中・高等学校への授業等への協力　　参加者：353人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	9/8	長野市立加茂小学校 親子レク カモチャールーム 「世界にひとつだけのパフェを作ろう」 担当：青山由貴枝、上沢修、赤津將之	小学生 保護者	67
2	10/2	須坂市立須坂小学校　1年 「まねっこ おやさい〜1まつファームをつくろう」 担当：青山由貴枝、松井正	小学生 教員	36
3	11/13 11/14 11/16	中野市立中野小学校　3年 親子レクリエーション 「東山魁夷作品の対話型鑑賞と貼り絵ワークショップ」 担当：青山由貴枝、松井正、福士恵子	小学生 保護者	217
4	2/7	阿南第二中学校　1・2・3年 「アートゲームと対話型鑑賞」 担当：青山由貴枝、竹澤未央	中学生 教員	33

加茂小学校　親子レクの様子

須坂小学校　1年
「まねっこおやさい〜1まつファームをつくろう」の様子①

須坂小学校　1年
「まねっこおやさい〜1まつファームをつくろう」の様子②

中野小学校　対話型鑑賞の様子

阿南第二中学校
アートゲームを使用した鑑賞授業の様子①

阿南第二中学校
アートゲームを使用した鑑賞授業の様子②

2. 幼保・特別支援学校・院内学級への授業等への協力　　参加者：139人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/30	長野県長野養護学校　ほほえみ学級 「人間国宝・松井康成の極めた練上手の技法に挑戦」 担当：大野織江、青山由貴枝	小学生 教員	15
2	6/1	信州大学医学部附属病院 院内学級 「郷土玩具・布引牛をつくろう」 担当：大野織江、青山由貴枝	小中 保護者	11
3	8/31	県立こども病院 院内学級 「マーブリングに挑戦！」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	16
4	9/21	信州大学医学部附属病院 院内学級 「マーブリングに挑戦！」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	14
5	11/8	長野県長野養護学校　1年 「松井康成の極めた練上手の技法に挑戦」 担当：青山由貴枝	小学生 教員	10

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
6	11/26	県立こども病院 院内学級 「クリスマスモビールをつくろう！」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	13
7	12/11	松本ろう学校　5年 「デザインしよう！自分マーク！」 担当：青山由貴枝、福士恵子	小学生 教員	3
8	12/14	信州大学医学部附属病院 院内学級 「クリスマスモビールをつくろう！」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	23
9	2/21	県立こども病院 院内学級 「スタンプバッグをつくろう」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	13
10	3/1	信州大学医学部附属病院 院内学級 「スタンプバッグをつくろう」 担当：青山由貴枝	小中 保護者	21

院内学級①

院内学級②

「松井康成の極めた練上手の技法に挑戦」
成果物

2　学校および社会教育施設との連携事業

1. 社会教育施設との連携活動

参加者：300人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/26	アートあそびの時間① 「いっぱい顔のついた冠をつくって、仏像になっちゃおう！」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：松浦千栄子、木内真由美	小学生 保護者	7
2	7/22	おもしろ美術講座(午前の部・午後の部) 「自分だけのオリジナル傘をつくろう！」 会場：キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館) 担当：青山由貴枝、赤津將之	小学生 保護者	80
3	7/28	アートあそびの時間② 「マーブリングでうちわをつくろう !!」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：青山由貴枝、福士恵子	小学生 保護者	37
4	9/22	アートあそびの時間③ 「松井康成の技法にチャレンジやってみよう！練上手 !!」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：青山由貴枝	小学生 保護者	22
5	11/24	アートあそびの時間④ 「アドベントカレンダーをつくろう！」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：青山由貴枝、松浦千栄子	小学生 保護者	35
6	1/26	アートあそびの時間⑤ 「世界にひとつだけのパフェをつくろう！」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：青山由貴枝、松浦千栄子	小学生 保護者	42
7	3/9	平成30年度長野県信濃美術館移動展　関連事業 「アートゲームであそぼう！つくろう！」 会場：長野県県民文化会館(ホクト文化ホール) 担当：福士恵子、松井 正、赤津將之	小学生 保護者	13
8	3/23	アートあそびの時間⑥ 「まねっこ魁夷！スタンプバッグをつくろう」 会場：権堂イーストプラザ市民交流センター 担当：青山由貴枝、福士恵子	小学生 保護者	42
9	3/27	子ども達あつまれ！キッズ・マイ・チャレンジ 「アートゲームと対話型鑑賞」 「世界にひとつだけのパフェをつくろう！」 会場：須坂市社会福祉協議会 担当：青山由貴枝、福士恵子	小学生	22

2. 学校教職員の研修会等への協力

参加者：137人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	8/21	千曲市学校職員会6学年会 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード実践 造形体験「思い出をコラージュしよう」 会場：千曲市立埴生小学校 担当：青山由貴枝	教員	19
2	10/10	中野・下高井及び飯水教育会 教育課程研究協議会(図工・美術) 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード実践、対話型鑑賞 会場：山ノ内町立西小学校 担当：青山由貴枝	教員	36
3	10/17	上高井 小・中学校教育課程研究協議会(図工・美術) 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード実践、対話型鑑賞 会場：須坂市立豊丘小学校 担当：青山由貴枝	教員	32
4	11/16	第72回 長野県美術教育研究会 長野上水内大会 長野県信濃美術館の教育普及活動について アートカード紹介、対話型鑑賞 会場：地域交流施設 古間支館 担当：青山由貴枝、木内真由美	教員	50

3　鑑賞教材「長野版アートゲーム」の貸出

貸出数：10件

No.	貸出先	教師用	生徒用
1	佐久市立野沢中学校	1	6
2	長野市立広徳中学校	6	36
3	北アルプス展望美術館(池田町立美術館)	1	3
4	千曲市立屋代小学校	1	6
5	須坂市立相森中学校	1	6
6	須坂市立小山小学校	1	6
7	長野県長野工業高等学校	0	7
8	飯田市立旭ヶ丘中学校	1	6
9	須坂市立豊丘小学校	1	4
10	阿南町立阿南第二中学校	2	6

キッセイ文化ホール
「自分だけのオリジナル傘をつくろう！」

アートあそびの時間①

平成30年度長野県信濃美術館移動展　関連事業
「アートゲームであそぼう！つくろう！」

教員研修会の様子①

教員研修会の様子②

「アートゲームであそぼう！つくろう！」チラシ

学習プログラム調査

1　小・中・高等学校への授業等への協力

No.	調査対象		調査内容
1	7/30	教員向けプログラム「先生のための美術館活用講座」 横須賀美術館（神奈川県）	教員向け講座、学校連携
2	7/11	大原美術館（岡山県）	施設見学、若手作家支援事業、教育普及事業全般
3	7/12	九州国立博物館（福岡県）	施設見学、教育普及活動
4	8/25 8/26	「チルドレンズ・アート・ミュージアム2018」 大原美術館（岡山県）	運営方法、ワークショップ、作家連携、ボランティア
5	10/2 10/7	幼稚園から大学まで美術教育の流れを体感する展覧会 ―全国美術・教育リサーチプロジェクト2018― 「美術の授業ってなんだろう？」シンポジウム、ラウンドテーブル 東京芸術大学大学美術館（東京都）	運営方法、ワークショップ、作品展示、ボランティア
6	10/23	富山県美術館（富山県）	施設見学、滞在・公開制作、地域交流
7	10/26	ボランティアスタッフ「クルーズ・クルー」説明会および研修会 金沢21世紀美術館（石川県）	ボランティア
8	10/28	企画展「IAMAS ARTIST FILE #6 クワクボリョウタ 会田大也 みるこころみるかえりみる」　関連イベント 岐阜県美術館（岐阜県）	運営方法、ワークショップ、作家連携
9	11/3	「ナンヤローネ No.4 楽日初日」 「清流の国ぎふ 文化の森の秋祭り」 岐阜県美術館（岐阜県）	運営方法、ワークショップ、ボランティア
10	11/6	全国美術館会議 教育普及部会（ERG）　第51回会合 東京都美術館（東京都）	学校連携、障がい者向けプログラム、ワークショップ、美術鑑賞プログラム
11	11/11	感覚をひらく　新たな美術鑑賞プログラム創造推進事業イベント 「手だけが知ってる美術館 第1回 茶道具」 京都国立近代美術館（京都府）	運営方法、障がい者向けプログラム
12	12/8	「ここから3 ―障害・年齢・共生を考える5日間」ギャラリートーク 国立新美術館（東京都）	障がい者向けプログラム、作品展示
13	12/22	「いろいろやっ展 みる＋つくる＋発表する　アトリエ・ドキュメント2018」 富山県美術館（富山県）	作品展示、ワークショップ、ボランティア
14	1/9	認知症ケア美術鑑賞ワークショップ 講演会「アートの力で人々・社会をイキイキと」 山梨県立美術館（山梨県）	美術鑑賞プログラム、障がい者向けプログラム
15	1/16	横浜市芸術文化教育プラットフォーム・トークシリーズ アート×教育 共有しあう役割を考える「美術館と子どもたちをつなぐ」 ST スポット（神奈川県）	中高生向けプログラム、ワークショップ、ボランティア
16	1/24	作品鑑賞プログラム「ミュージアム・クルーズ」活動視察 金沢21世紀美術館（石川県）	運営方法、学校連携、作品鑑賞プログラム、ボランティア
17	2/3	東京都美術館×東京藝術大学「とびらプロジェクト」フォーラム 東京都美術館（東京都）	運営方法、学校連携、ボランティア
18	3/4	滋賀県立近代美術館（滋賀県）	地域交流、学校連携、ワークショップ

2　学校連携についての意見聴取（現役教職員および学校関係者対象）

No.	調査対象		調査内容
1	5/24	長野市立三陽中学校（長野市）	学校連携全般（教員向け鑑賞講座ほか）
2	6/28	須坂市立井上小学校（須坂市）	学校連携全般（小学校での授業状況ほか）
3	8/6	長野県松本ろう学校（松本市）	学校連携全般（盲・ろう学校の授業状況ほか）
4	12/4	長野県総合教育センター（塩尻市）	学校連携全般（教員研修会の状況ほか）

交流事業

1　講演会

参加者：258人

No.		事業名／実施回数	対象	参加者数
1	7/28	館長がガイドする！　信州アートトレッキング 信濃美術館コレクション散さく 講師：松本透　長野県信濃美術館館長 会場：飯山市文化交流館なちゅら小ホール	一般	38
2	9/1	館長がガイドする！　信州アートトレッキング 信濃美術館コレクション散さく 講師：松本透　長野県信濃美術館館長 会場：木曽町文化交流センター多目的ホール	一般	34
3	10/13	館長がガイドする！　信州アートトレッキング 信濃美術館コレクション散さく 講師：松本透　長野県信濃美術館館長 会場：清泉女学院大学 F301教室	一般	71
4	12/1	館長がガイドする！　信州アートトレッキング 信濃美術館コレクション散さく 講師：松本透　長野県信濃美術館館長 会場：市立小諸高原美術館　展示室	一般	55
5	2019 2/23	館長がガイドする！　信州アートトレッキング 信濃美術館コレクション散さく 講師：松本透　長野県信濃美術館館長 会場：信州高遠美術館　エントランスホール	一般	60
※すべて手話通訳付き				
※4、5は長野県信濃美術館交流名品展関連イベントとして実施。				

2　出張講座（公民館等）

参加者：87人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	5/25	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「池田満寿夫―芸術家としての出発の頃」 担当：木内真由美	一般	25
2	6/22	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「長野が生んだ天才・河野通勢の青春期」 担当：瀬尾典昭	一般	20
3	7/27	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「山本鼎と倉田白羊―信州ゆかりのふたりの洋画家―」 担当：田中正史	一般	15
4	8/24	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「信州の刀工　山浦一門と宮入一門」 担当：上沢修	一般	12
5	9/28	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「明治・大正・昭和期における写生旅行地としての長野」 担当：松浦千栄子	一般	15
6	10/26	長野市もんぜんプラザシニアアクティブルーム 休館中にいろいろ学ぶ信濃美術館講座 「日展で活躍した信州出身の日本画家たち」 担当：福士恵子	一般	12

3　ワークショップ

参加者：301人

No.	開催日	事業内容、場所、担当	対象	参加者数
1	6/9	善光寺びんずる市 「布引牛をつくろう！」 講師：田嶋健　氏(美術家) 紙芝居朗読：成田俊郎　氏(となりや商店) 担当：松浦千栄子、木内真由美、青山由貴枝 会場：善光寺東庭園	こども・大人	90
2	7/7	信濃美術館プレゼンツ 「大人のアート体験　針と糸で絵を描く」 講師：宮崎友里　氏(刺繍絵作家) 担当：木内真由美、松浦千栄子 会場：torinoco	大人	15
3	10/13	善光寺びんずる市 「変身！まんまるさん」 講師：白井ゆみ枝　氏(美術家) 担当：青山由貴枝、鈴木幸野 会場：善光寺東庭園	こども	85
4	2/9	信濃美術館プレゼンツ 「大人のアート体験　紙の箱をつくる」 講師：梅川茜　氏(紙箱作家) 担当：木内真由美、松浦千栄子、青山由貴枝 会場：torinoco 手話通訳付き	大人	8
5	2/10	信濃美術館プレゼンツ 「大人のアート体験　紙の箱をつくる」 講師：梅川茜　氏(紙箱作家) 担当：松浦千栄子 会場：torinoco	大人	6
6	3/9	トークセッション 「この山どこの山？描かれた信州の山　大捜索」 パネリスト：佐藤大史　氏(写真家)、真田緑氏(テキスタイルデザイナー)、田辺智隆　氏(戸隠地質化石博物館　学芸員)、白鳥純司　氏(市立小諸高原美術館・白鳥映雪館　学芸員)平賀研也(県立長野図書館館長)、瀬尾典昭(長野県信濃美術館　研究主幹)、松浦千栄子(同　学芸員) 補助：清泉女学院大学　文化学科1年生　5名、山貝征典先生 主催：長野県信濃美術館、県立長野図書館 後援：信州の山岳文化創生会議 会場：県立長野図書館　2F　ナレッジラボ	一般	97

びんずる市WS　「変身！まんまるさん」

大人のアート体験　針と糸で絵を描く

大人のアート体験　紙の箱をつくる

「この山どこの山？描かれた信州の山　大捜索」チラシ

「この山どこの山？描かれた信州の山大捜索」の様子①

「この山どこの山？描かれた信州の山大捜索」の様子②

4　善光寺平アートライン推進協議会（事務局：長野県信濃美術館）　参加者：420人

善光寺平アートライン推進協議会は、善光寺平の美術館および芸術文化施設により2009年1月に発足し、相互交流・情報交換・研究等を通して、施設の活性化・充実化や質の向上を図り、このゾーンへの誘客を引き出し、善光寺平全体の芸術文化の長期的な発展を目的としている。2018年度より長野県信濃美術館に事務局が置かれている。

善光寺平アートライン加盟館(順不同)：
【長野市】　北野美術館／水野美術館／長野県信濃美術館 東山魁夷館
【須坂市】　豪商の館 田中本家博物館／笠鉾会館ドリームホール／須坂版画美術館／世界の民族人形博物館／須坂クラシック美術館／旧小田切家住宅
【小布施町】おぶせミュージアム・中島千波館／高井鴻山記念館／北斎館／日本のあかり博物館
【高山村】　一茶ゆかりの里 一茶館

No.	事業名／実施回数	対象	参加者数
1	2/18 平成30年度首都圏における長野県芸術発信事業 「信州ミュージアムコーナー」 信州・善光寺平アートライン展 in 銀座 担当：鈴木幸野　　会場：銀座 NAGANO 加盟館作品展示 おぶせミュージアム 中島千波館所蔵　2点 ・中島千波《雪椿》(彩美版方式) 2010年 257×333mm ・中島千波《はるらんまん》(シルクスクリーン) 2004年　200×240mm 長野県信濃美術館所蔵　2点 ・東山魁夷《白馬の森》複製画 ・東山魁夷《緑響く》複製画	一般	延べ40人
2	2/19 平成30年度首都圏における長野県芸術発信事業 「信州ミュージアムコーナー」 信州・善光寺平アートライン展 in 銀座 担当：鈴木幸野　　会場：銀座 NAGANO 加盟館作品展示(同上) ①スペシャル・ワークショップ「北信州産栗の木を使ったクマのフェイスペンダント作り」 講師：テイクジー ②学芸員ワークショップ「額をデコレーションして、絵はがきを飾って楽しもう！」 講師：宮下真美(おぶせミュージアム・中島千波館学芸員) ③スペシャルイベント 「醸そう！北信州の日本酒×アーティスト酒器」 講師：村松裕也(株式会社角口酒造店 専務取締役 兼 杜氏)、由井志織(信州の酒 PR 大使)、角居康宏(金属造形作家)、坪内真弓(陶芸作家)、ナカムラジン(美術家)	一般	延べ200人 ①5名 ②3名 ③17名

No.	事業名／実施回数	対象	参加者数
3	2/20 平成30年度首都圏における長野県芸術発信事業 「信州ミュージアムコーナー」 信州・善光寺平アートライン展 in 銀座 担当：鈴木幸野　　会場：銀座 NAGANO 加盟館作品展示(同上) ①スペシャル・ワークショップ「北信州産栗の木を使ったクマのフェイスペンダント作り」 講師：テイクジー ②学芸員ワークショップ「善光寺ゆかり【布引牛】をつくろう」 講師：鈴木幸野(長野県信濃美術館 東山魁夷館 学芸員)	一般	延べ150人 ①4名 ②14名
4	2/22 平成30年度首都圏における長野県芸術発信事業 「信州ミュージアムコーナー」 信州・善光寺平アートライン展 in 銀座 担当：鈴木幸野　　会場：銀座 NAGANO 加盟館作品展示(同上)	一般	延べ30人

スペシャルイベント
「醸そう！北信州の日本酒×アーティスト酒器」

スペシャルワークショップ
「北信州産栗の木を使ったクマのフェイスペンダント作り」

交流事業調査

1　公開制作、地域交流などについて

No.	調査対象		調査内容
1	4/29	境内アート小布施×苗市（小布施市）	運営方法、地域交流
2	5/3	中川村アートセッション（中川村）	運営方法、作品展示
3	5/11	川越市立美術館（埼玉県）	タッチアートコーナー
4	6/4	府中市美術館（東京都）/ 藤沢市アートスペース（神奈川県）	公開制作、作品展示
5	6/7	木曾ペインティングス（木曽町）	運営方法、滞在制作、作品展示
6	7/4	ギャラリー TOM（東京都）	タッチアートコーナー
7	8/10	中条アートロケーション場（長野市）	地域交流、滞在制作
8	8/21	浅間国際フォトフェスティバル（御代田町）	地域交流、作品展示
9	8/25	神奈川県立歴史博物館（神奈川県）	シンポジウム、地域交流
10	8/31・9/3	まつしろ現代美術フェスティバル・信濃の国原始感覚美術祭（長野市松代 / 大町市）	運営方法、滞在制作、作品展示
11	9/9	国際芸術センター青森（青森県）	滞在制作
12	10/23	富山県美術館（富山県）	滞在・公開制作、地域交流
13	10/27	アーツ前橋（群馬県）	滞在・公開制作、地域交流・連携
14	10/30・12/5	中条アーティスト・イン・レジデンス（長野市）	滞在・公開制作、運営方法
15	11/9・11/17	東京都現代美術館（東京都）	運営方法、地域交流、制作
16	12/8	ここから　3- 障害・年齢・共生を考える5日間（国立新美術館・東京都）	障害者対応、作品展示
17	1/12～1/14	徳島県立近代美術館（徳島県）	障害者対応、地域交流
18	3/1	茅野市美術館（茅野市）	地域交流・連携
19	3/4	滋賀県立近代美術館（滋賀県）	地域交流、連携

2　滞在･公開制作（アーティスト･イン･レジデンス）について作家への聞き取り

No.	調査対象		調査内容
1		現代作家　聞き取り　　4名	AIR 運営方法、制作補助、環境などについて

3　連携事業についての意見聴取（大学・専門学校、地域団体、県内美術館等）

No.	調査対象		調査内容
1	10/18	清泉女学院大学　文化学科	学芸員課程、連携可能性、カリキュラム等
2	10/19	長野県立大学	連携可能性、カリキュラム等
3	1/11	長野県立歴史館	県博協

木曾ペインティングス

府中市美術館

MLA 連携

参加者：68人

No.	事業名／実施回数		対象	参加者数
1	3/8・3/9	第3回信州　知の連携フォーラム MLA リレー式ワークショップ①寺社の MLA と体験する～地域の文化資産を見て・知って・整理して・発信する～ 主催＝信州大学附属図書館 共催＝県立長野図書館、長野県信濃美術館、長野県立歴史館	一般	68（延べ）

第3回　信州　知のフォーラム

ライブラリー

参加者：19人

No.	事業名／実施回数		対象	参加者数
1	3/15	アート・ライブラリーの現状と課題 講師：水谷長志　氏（跡見学園女子大学文学部人文学科教授　司書課程担当） 会場：長野県南俣庁舎内　長野県信濃美術館事務所	県内学芸員、図書館司書ほか	19

アートライブラリーの現状と課題

収蔵品貸出

主催者等		展覧会名称	展覧会会期	
MIDORI 長野			平成30年(2018)4月11日～9月27日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	萃瓷練上壺	1995	陶器
3	松井康成	練上玻璃光大壺	1997	陶器
4	松井康成	練上華文香炉	1991	陶器
香川県立東山魁夷せとうち美術館		「瀬戸大橋開通30周年　せとうち気分―多島海を描く」	平成30年(2018)4月14日～5月27日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
5	東山魁夷	暮潮　小下図　A	1959	紙本彩色
6	東山魁夷	暮潮　小下図　B	1959	紙本彩色
7	東山魁夷	暮潮　大下図	1959	紙本彩色
市立岡谷美術考古館		「生誕100周年　早出守雄展～早出先生と教え子たち～」展	平成30年(2018)6月28日～8月26日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
8	早出守雄	丸山橋	1955	水彩、紙
9	早出守雄	河畔麗日	1968	水彩、紙
諏訪市美術館		企画展「石井柏亭と信州の美術―県展70周年記念」	平成30年(2018)7月28日～9月24日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
10	石井柏亭	野尻湖	1954	油彩、カンヴァス
茅野市美術館		茅野市市制施行60周年記念事業　信濃美術をみつめる「描くこと　この地との出会い」	平成30年(2018)7月28日～9月9日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
11	東山魁夷	緑響く	1982	紙本彩色
12	東山魁夷	森装う	1972	紙本彩色
13	東山魁夷	沼	1993	紙本彩色
14	東山魁夷	山谿秋色	1932	紙本彩色
15	東山魁夷	倉庫	1963	紙本彩色
16	東山魁夷	緑響く	1972	紙本彩色
17	東山魁夷	夕明り	1972	紙本彩色
18	東山魁夷	山霊	1987	紙本彩色
19	東山魁夷	静晨	1994	紙本彩色
20	東山魁夷	夕紅	1996	紙本彩色
21	中川紀元	散華	1962	油彩、カンヴァス
22	田村一男	春丘	1976	油彩、カンヴァス
23	田村一男	暁色	1977	油彩、カンヴァス
24	田村一男	きたのくに	1982	油彩、カンヴァス
25	矢崎牧廣	鎌ヶ池	1971	油彩、カンヴァス
京都国立近代美術館 国立新美術館		生誕110年　東山魁夷展	平成30年(2018)8月29日～10月8日 平成30年(2018)10月24日～12月3日	
No.	作家名	作品名	制作年	技法・材質
26	東山魁夷	窓	1963	紙本彩色
27	東山魁夷	静かな町	1971	紙本彩色
28	東山魁夷	石の窓	1972	紙本彩色
29	東山魁夷	白馬の森	1974	紙本彩色
30	東山魁夷	桂林月夜	1976	紙本彩色
31	東山魁夷	黄山雨過	1978	紙本彩色
32	東山魁夷	静唱	1978	紙本彩色
33	東山魁夷	緑響く	1981	紙本彩色
34	東山魁夷	春兆	1982	紙本彩色
35	東山魁夷	緑の窓	1982	紙本彩色
36	東山魁夷	霧氷の譜	1983	紙本彩色
37	東山魁夷	秋思	1983	紙本彩色
38	東山魁夷	冬の旅	1987	紙本彩色
39	東山魁夷	一力	1988	紙本彩色
40	東山魁夷	土塀	1989	紙本彩色
41	東山魁夷	松尾神社にて	1990	紙本彩色
42	東山魁夷	三宝院唐門	1927	紙本彩色
43	東山魁夷	寺の塀	1928	紙本彩色
44	東山魁夷	壬生狂言	1929	紙本彩色
45	東山魁夷	宵山	1993	紙本彩色
46	東山魁夷	祇園まつり	1942頃	紙本彩色
47	東山魁夷	あだし野	1952	紙本彩色
48	東山魁夷	千灯会	1972	紙本彩色
49	東山魁夷	伏見の酒倉	1996	紙本彩色
50	東山魁夷	東福寺の庭	1997	紙本彩色
51	東山魁夷	二條城の石垣	1999	紙本彩色
52	東山魁夷	門	1972	紙本彩色
53	東山魁夷	魚鐸	1923	紙本彩色
54	東山魁夷	砂紋	1982	紙本彩色
55	東山魁夷	蔦もみじ	1974	紙本彩色
56	東山魁夷	散り紅葉	1974	紙本彩色
57	東山魁夷	京の民家	1979	紙本彩色
58	東山魁夷	街道の家	1979	紙本彩色
59	東山魁夷	古道具屋	1979	紙本彩色
60	東山魁夷	あぶり餅	1980	紙本彩色
61	東山魁夷	桂の敷石	1990	紙本彩色
62	東山魁夷	桂離宮書院	1933～1935	紙本彩色
63	東山魁夷	三玄院露地	1933～1935	紙本彩色
64	東山魁夷	龍安寺塀	1933～1935	紙本彩色

65	東山魁夷	冬の庭	1934	紙本彩色
66	東山魁夷	深雪	1933～35	紙本彩色
67	東山魁夷	修学院雪庭	1962	紙本彩色
68	東山魁夷	雪の石庭	1962	紙本彩色
69	東山魁夷	雪降る町	1962	紙本彩色
70	東山魁夷	春静	1962	紙本彩色
71	東山魁夷	曙	1962	紙本彩色
72	東山魁夷	行く春	1964～1966	紙本彩色
73	東山魁夷	夏に入る	1964～1966	紙本彩色
74	東山魁夷	夕涼	1964～1966	紙本彩色
75	東山魁夷	青い峡	1964～1966	紙本彩色
76	東山魁夷	年経る樹	1964～1966	紙本彩色
77	東山魁夷	夏深む	1969	紙本彩色
78	東山魁夷	初紅葉	1969	紙本彩色
79	東山魁夷	照紅葉	1969	紙本彩色
80	東山魁夷	谿紅葉	1969	紙本彩色
81	東山魁夷	秋寂び	1969	紙本彩色
82	東山魁夷	北山初雪	1969	紙本彩色
83	東山魁夷	年暮る	1969	紙本彩色
84	東山魁夷	「瑞光」試作	1969	紙本彩色
85	東山魁夷	行く秋	1969	紙本彩色
86	東山魁夷	水辺の朝	1969	紙本彩色
87	東山魁夷	聖夜	1972	紙本彩色
88	東山魁夷	木枯らし舞う	1972	紙本彩色
89	東山魁夷	夕星	1972	紙本彩色
90	東山魁夷	草青む	1972	紙本彩色
香川県立東山魁夷せとうち美術館		**「生誕110年記念　夢を奏でる―東山魁夷とメルヘン」**	**平成30年(2018)9月15日(土)～11月11日(日)**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
91	東山魁夷	絵のある窓	1969	紙本彩色
92	東山魁夷	白馬亭	1969	紙本彩色
93	東山魁夷	骨董屋	1969	紙本彩色
94	東山魁夷	泉	1969	紙本彩色
95	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　表紙	1976	紙本彩色
96	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　1	1976	紙本彩色
97	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　2	1976	紙本彩色
98	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　3	1976	紙本彩色
99	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　4	1976	紙本彩色
100	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　5	1976	紙本彩色
101	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　6	1976	紙本彩色
102	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　7	1976	紙本彩色
103	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　8	1976	紙本彩色
104	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　9	1976	紙本彩色
105	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　10	1976	紙本彩色
106	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　11	1976	紙本彩色
107	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　12	1976	紙本彩色
108	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　13	1976	紙本彩色
109	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　14	1976	紙本彩色
110	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　15	1976	紙本彩色
111	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　16	1976	紙本彩色
112	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　17	1976	紙本彩色
113	東山魁夷	コンコルド広場の椅子　18	1976	紙本彩色
MIDORI 長野			**平成30年(2018年)9月27日～平成31(2019)年4月23日**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
114	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
115	松井康成	練上嘯裂文壺「山形の冬」	1982	陶器
116	松井康成	萃瓷練上壺	1993	陶器
117	松井康成	練上玻璃光壺	1997	陶器
丸山晩霞記念館		**「生誕150年・明治150年　水彩画家丸山晩霞展」**	**平成30年(2018)10月13日～11月25日**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
118	川上冬崖	初夏の志賀高原	1909頃	水彩、紙
119	菱田春草	山上の潤地	不詳	水彩、紙
高崎市タワー美術館		**「長野県信濃美術館名品展」**	**平成30年(2018)11月10日(土)～平成31年(2019)年1月20日(日)**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
120	池上秀畝	秋雨	1932	絹本彩色
121	川上冬崖	花鳥	1860	絹本彩色
122	川上冬崖	玉堂富貴	1878	絹本彩色
123	川上冬崖	花卉	1878	絹本彩色
124	川舩水棹	日蓮	1942	紙本彩色
125	菊池契月	媼(春寒)	1914	絹本彩色
126	菊池契月	婦女	1930	紙本彩色
127	菊池契月	光明皇后	1944	絹本彩色
128	木村其樵	歳寒二雅群雀図		絹本彩色
129	小坂芝田	深遠	1908	絹本彩色
130	小坂芝田	雪景山水図	1911	絹本彩色
131	児玉果亭	雲山飛瀑	1900	絹本墨画
132	児玉果亭	深山大沢	1902	絹本墨画
133	児玉果亭	雪景山水図	1905	絹本墨画
134	西郷孤月	柿双禽	1910頃	絹本彩色
135	西郷孤月	桜山鳩	不詳	絹本彩色
136	西郷孤月	月下群鴨図	不詳	絹本彩色
137	長井雲坪	秋山群猿図	1890	絹本彩色
138	菱田春草	常磐津　伏姫	1900	絹本彩色
139	菱田春草	月下群鷺	1901	絹本彩色
140	菱田春草／(西郷孤月)	春秋(春の野・湖畔の夕)うち湖畔の夕	不詳	絹本彩色
141	(菱田春草)／西郷孤月	春秋(春の野・湖畔の夕)うち春の野	不詳	絹本彩色
142	菱田春草	羅浮仙	1901頃	絹本彩色
143	菱田春草	雄快(海岸怒涛)	1902	絹本彩色

144	菱田春草	秋夜図	1903頃	絹本彩色
145	菱田春草／(横山大観)	春曙・(秋夜)	1907	絹本彩色
146	(菱田春草)／横山大観	(春曙)・秋夜	1907	絹本彩色
147	矢沢弦月	童謡	1916	紙本彩色
148	矢沢弦月	童謡(左)	1916	紙本彩色
149	矢沢弦月	新秋～海～	1920	絹本彩色
150	矢沢弦月	新秋～山～	1920	絹本彩色
151	矢沢弦月	新秋～里～	1920	絹本彩色
152	中島千波	欲望	1970	紙本彩色
153	富岡永洗	雪月花美人図(右)	不詳	絹本彩色
154	富岡永洗	雪月花美人図(中)	不詳	絹本彩色
155	富岡永洗	雪月花美人図(左)	不詳	絹本彩色
156	西郷孤月	主の救い	1901頃	絹本彩色
157	西郷孤月／(横山大観)	(春の朝)・春曙	1901頃	絹本彩色
158	(西郷孤月)／横山大観	(春曙)・春の朝	1901頃	絹本彩色
159	伊東深水	御代田の春	1948	絹本彩色
160	町田曲江	松に山鳩	不詳	紙本彩色
161	奥村土牛	白日(ひまわり)	1949	絹本彩色
162	荒木十畝	木曽鞍馬橋図	1904	絹本彩色
163	池上秀畝	黄柳白鷺(右)	1918	絹本彩色
164	池上秀畝	黄柳白鷺(左)	1918	絹本彩色
165	西郷孤月／菱田春草／横山大観	月夜山水	1903頃	絹本彩色
166	菱田春草／(横山大観)	乳糜供養・(釈迦と魔女)	1903頃	絹本彩色
167	(菱田春草)／横山大観	(乳糜供養)・釈迦と魔女	1903頃	絹本彩色
168	菊池契月	花野(右隻)	1916	絹本彩色
169	菊池契月	花野(左隻)	1916	絹本彩色
170	菊池契月	庭の池(右隻)	1919	絹本彩色
171	菊池契月	庭の池(左隻)	1919	絹本彩色
172	滝沢具幸	谿 I.II.III(Ⅲ)	1996	紙本彩色
173	滝沢具幸	谿 I.II.III(Ⅰ)	1996	紙本彩色
174	川上冬崖	ナポレオン	不詳	水彩、紙
175	足立源一郎	春の穂高(徳本峠にて)	1973	油彩、カンヴァス
176	有島生馬	春の浅間山	1946	油彩、カンヴァス
177	金山平三	結氷	1931	油彩、カンヴァス
178	倉田白羊	冬景色	1937	油彩、カンヴァス
179	小絲源太郎	山粧ふ	1956	油彩、カンヴァス
180	河野通勢	長野の近郊	1915	油彩、カンヴァス
181	河野通勢	林檎	1918	油彩、ボード
182	河野通勢	自画像	1918	油彩、カンヴァスボード
183	小山敬三	暮れゆく浅間	1968	油彩、カンヴァス
184	須山計一	諏訪大社田植え祭り	1964	油彩、カンヴァス
185	曽宮一念	焼岳山頂	1963	油彩、カンヴァス
186	高田誠	湖畔秋色(信州松原湖畔にて)	1938	油彩、カンヴァス
187	高畠達四郎	浅間遠望	1975	油彩、カンヴァス
188	山本鼎	白菜と赤蕪	1937	油彩、カンヴァス
189	吉田博	有明山	1920	油彩、カンヴァス
190	吉田博	有明山	1920	油彩、カンヴァス
191	吉田博	乗鞍岳	1920	油彩、カンヴァス
192	中村不折	裸婦立像	1903-04	油彩、カンヴァス
193	満谷国四郎	野尻湖	1919	油彩、カンヴァス
194	林倭衛	出獄の日のＯ氏	1919	油彩、カンヴァス
195	石井柏亭	麦秋	1949	油彩・カンヴァス
196	石井鶴三	風試作	1956	ブロンズ
197	荻原碌山	坑夫	1907	ブロンズ
198	荻原碌山	女	1910	ブロンズ
199	石井鶴三	踊	1930	ブロンズ
200	菊池一雄	ギリシャの男	1937	ブロンズ
市川市東山魁夷記念館		**特別展「巡礼への道のり―東山魁夷・平山郁夫―」**	**平成30年(2018)12月8日～平成31年(2019)1月27日**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
201	東山魁夷	朝の塔	1973～1985	紙本彩色
202	東山魁夷	吉野の春	1973～1985	紙本彩色
203	東山魁夷	春日野朝霧	1973～1985	紙本彩色
204	東山魁夷	古陵薄明	1973～1985	紙本彩色
205	東山魁夷	室生の塔	1973～1985	紙本彩色
206	東山魁夷	霧の朝	1973～1985	紙本彩色
207	東山魁夷	萱生にて	1973～1985	紙本彩色
208	東山魁夷	飛火野	1973～1985	紙本彩色
209	東山魁夷	夕べの塔	1973～1985	紙本彩色
210	東山魁夷	松と月	1973～1985	紙本彩色
211	東山魁夷	布留の森	1973～1985	紙本彩色
212	東山魁夷	唐招提寺月明	1973～1985	紙本彩色
213	東山魁夷	赤目晩秋	1973～1985	紙本彩色
214	東山魁夷	石佛	1973～1985	紙本彩色
215	東山魁夷	柿の木と白壁の家	1973～1985	紙本彩色
216	東山魁夷	酒造りの家	1973～1985	紙本彩色
217	東山魁夷	雪の春日野	1973～1985	紙本彩色
218	東山魁夷	室生暮雪	1973～1985	紙本彩色
219	東山魁夷	「大和春秋」カット	1985	ｶｯﾄ・その他
松本市美術館		**松本市美術館2018年度コレクション展示　関四郎五郎特集展示**	**平成30年(2018)12月27日～平成31年(2019)5月6日**	
No.	**作家名**	**作品名**	**制作年**	**技法・材質**
220	関四郎五郎	春寒	1965	油彩、カンヴァス

MIDORI 展示

2018年度上半期（4月11日～9月27日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材料
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	萃瓷練上壺	1995	陶器
3	松井康成	練上玻璃光大壺	1997	陶器
4	松井康成	練上華文香炉	1991	陶器

2018年度下半期（9月27日～2019年4月23日）

No.	作家名	作品名	制作年	技法・材料
1	池田満寿夫	レリーフ「詩人」	1989	ブロンズ
2	松井康成	練上嘯裂文壺「山形の冬」	1982	陶器
3	松井康成	萃瓷練上壺	1993	陶器
4	松井康成	練上玻璃光壺	1997	陶器

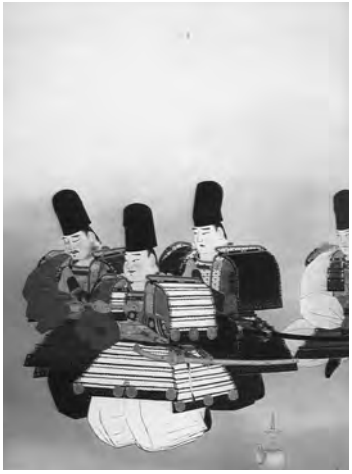
MIDORI 長野上半期展示

MIDORI 長野下半期展示

収蔵品修復

No.	作家名	作品名	材質・技法・形状	法量(cm)	修復内容
1	江崎孝坪	手向け	紙本彩色・額装	225.0×160.5	亀裂・ひび割れ・浮き部位の修復、汚れの除去、木製保護蓋・黄袋の製作
2	町田曲江	丘に立つ役牛	紙本彩色・額装	67.4×76.4	ひび割れ部位の修復、汚れの除去、額縁の塗り直し、黄袋・タトウ箱の製作
3	池上秀畝	四季花鳥(夏)	紙本彩色、四幅対・軸装	239.4×103.5	本紙剥がれ部の糊差し
4	菱田春草／横山大観	布袋・寿老図	絹本彩色、対幅・軸装	各126.2×42.1	掛緒・巻緒の付け直し

江崎孝坪《手向け》



修復後

修復前

顔料の剥落止め、補彩

修復後

修復前

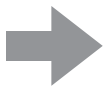
顔料の剥落止め、補彩

修復後

膠水による顔料の剥落止め作業

町田曲江《丘に立つ役牛》

修復前



カビ汚れの
除去

修復後

顔料補彩作業

修復前

修復後

松澤宥「プサイの部屋」アーカイブ化事業

長野県信濃美術館では、文化庁平成30年度我が国の現代美術の海外発信事業として、松澤宥「プサイの部屋」アーカイブ化事業を実施した。

1	事業名称	平成30年度我が国の現代美術の海外発信事業「松澤宥「プサイの部屋」アーカイブ化事業」
2	事業期間	平成30年9月28日から平成31年3月29日
3	事業概要	松澤宥のアトリエ「プサイの部屋」の記録および同部屋が収容する美術作品等資料のアーカイブ化を目標とした調査・整理作業を行う。
4	事業目的	本事業の目的は、老朽化・劣化により危機的な状況にある、日本を代表するコンセプチュアル・アート（概念芸術）の作家である松澤宥のアトリエ「プサイの部屋」の全容の記録および同部屋が収容する美術作品等のデータベース作成である。 松澤宥（1922–2006）は、長野県諏訪郡下諏訪町生まれで、下諏訪町を拠点に、国内外に芸術を発信しつづけた。「プサイの部屋」は、松澤の芸術の源泉となった場で、当時の多くの批評家や作家も訪れた日本現代美術の伝説的場所である。 「プサイの部屋」は、下諏訪町にある松澤旧邸の中二階に存するが、旧邸は築後200年近く経ており、建築物としての劣化が激しい。昨秋、建築家による耐震診断で通常住宅の1.2～1.5に対して、旧邸は0.1程度の耐震度と診断され、早急な対処が必要な状態であることが分かった。本事業では、「プサイの部屋」全容を画像として記録し、内部資料について調査、整理し、基幹データを採取すること。また、資料のデータベース化により、「プサイの部屋」の資料が今後広く利用される環境を整えていくことを目標とする。
5	調査・整理手法の概要	プサイの部屋内は資料が大量にあったが、調査等はこれまで本格的には行われてこなかった。そのため、本事業の計画にあたり、資料の内容や量が不明であった。また、プサイの部屋内の資料は、平面絵画や単体のオブジェも含まれるが、個々の資料としてだけではなく、資料の集合体が、松澤の作品ともいえるべきものである。ただし、どこからどこまでが一連の資料であるか、また、松澤の意図したつながりであるのかが現状では判別しがたいという状況である。 上記の現状を踏まえ、アーカイブ化のための調査にあたり、遺族、一般財団法人松澤宥プサイの部屋、長野県信濃美術館で検討し、以下の方針を決定した。 ①画像による記録 プサイの部屋そのものの現状を映像として記録する。画像については、可能な限り高精細で数多く撮影する。壁面については、実寸大に引き延ばすことも可能な解像度で撮影。床面、天井にも作品・資料が多くあることから、VR（360度）画像などを含め、予算・日程面で可能なものを選ぶ。 ②美術専門業者による作品の梱包 どこまでが作品かは判別しがたい。豆、植物、木、割れたガラス片なども含めすべて、番号をつけ梱包。資料については、すべて保存する。 ③建築的手法を用いた記録 どこに、どのようなつながりで置かれていたのかを重視した記録をする。記録には信州大学建築学科の協力を得る。個別の作品・資料はすべて保存されるため、詳細なアイテムの記録は今後行う。
	調査・整理の実施過程	調査・整理作業は、以下の手順で行った。 ① 360度カメラでのVR撮影　4Kレベル　5～10か所 ② 5000万画素　多角記録撮影 ③ 床面　作品記録及び梱包作業 ④ 壁面　原寸200dpi以上高精細撮影 ⑤ 壁面　作品記録及び梱包作業 ⑥ 建築実測 ⑦ 調査資料のデータ化
6	アーカイブ化と公開に向けた課題	松澤宥アトリエ「プサイの部屋」および、内部資料の現物は、長野県諏訪郡下諏訪町にあること、また、また建築上の問題からも実物を公開することは現状では難しい。デジタルアーカイブ化、公開の整備を、ご遺族や一般財団法人松澤宥プサイの部屋と今後進めていきたい。 今年度は調査時の記録をデジタル化する作業を行ったが、今後の公開に向けた課題として以下のような課題がある。 ①公開システムの構築 どのようなシステムを構築するべきか。どのような形で公開するのかを検討し、システムを構築し、データを整備していく。 ②松澤邸内の他資料との共通したアーカイブの構成 松澤邸内には、松澤自身の作品をはじめとして多種多様なアーカイバルな資料が大量に保管されている。これらは、松澤宥自身の芸術を研究する上でも重要な資料であるが、同時代の美術・文化を研究する上でも非常に有益な文化資源である。これらすべてを一連のアーカイブとして公開することを視野に入れた、資料整備・公開システムを検討し、公開可能となった部分からの公開を進めていくことが必要である。

＊本事業実施においては、松澤宥ご遺族、一般財団法人松澤宥プサイの部屋、信州大学寺内美紀子研究室をはじめ、多くの方にご協力をいただきました。

事業開始時の「プサイの部屋」の様子

調査時の様子

調査整理が終わった後のプサイの部屋

松澤宥アーカイブ活用プロジェクト

長野県信濃美術館が中核館となり、文化庁平成30年度地域と共働した美術館・歴史博物館創造活動支援事業の補助事業として、松澤宥アーカイブ活用プロジェクトを実施した。

1　事業概要

1	事業名称	松澤宥アーカイブ活用プロジェクト
2	実行委員会	松澤宥アーカイブ活用実行委員会
3	中核館	長野県信濃美術館
4	構成団体	一般財団法人松澤宥プサイの部屋、三澤先生記念文庫運営委員会、スワニミズム
5	事業目的	松澤宥(1922–2006)は、長野県諏訪郡下諏訪町の生まれで、下諏訪町を拠点に国内外に芸術を発信しつづけた、日本を代表するコンセプチュアル・アーティストである。現在でも松澤宥自宅は下諏訪町に所在し、松澤宥がアトリエとして使っていた通称「プサイの部屋」、また松澤作品及び膨大な資料群が松澤邸内に残っている。しかし、これらの文化資源は、専門家にその所在が知られているのみであり、地元でその存在がほとんど知られてこなかった。 松澤邸に残る資料(プサイの部屋、松澤宥作品、アーカイバル資料群)は、松澤宥という世界的芸術家が残した下諏訪町また長野県が誇るべき貴重な文化資源である。 本事業では、下諏訪町にある松澤宥に関わる文化資源を活用し、松澤宥顕彰およびアーカイブの普及を、美術館を中心に専門家と市民を巻き込んで目指す。
6	事業概要	下諏訪町および松澤邸に残る文化資源(プサイの部屋、松澤宥作品、アーカイバル資料群)を通して、松澤宥顕彰およびアーカイブの普及を行った。具体的には、①松澤宥ゆかりの地「泉水入瞑想台」フィールドトリップ②諏訪清陵高校　特別授業③少年少女の星　COSMOS でのψ(プサイ)郵便局の設置④松フェス(松澤宥フェスティバル)⑤トークイベント「松澤宥を語る」⑥シンポジウム「松澤宥アーカイブの現状と活用」を実施した。

2　事業内容

No.	開催日	事業内容	参加者数
1	2018年10月14日(日) 13:00～16:00	松澤宥ゆかりの地「泉水入瞑想台」フィールドトリップ 〈行程〉 13時　諏訪大社秋宮 鳥居下集合　13時20分　御射山社前　13時30分　御射山社　14時5分　泉水入瞑想台(説明、パフォーマンス)　15時15分　瞑想台出発　15時40分 御射山社前　16時00分 諏訪大社秋宮・解散	46
2	2018年10月16日(火) 8:50～11:10	諏訪清陵高校　特別授業「アートってなんですか？松澤宥と諏訪」 講師：嶋田美子(美術家・東京大学教養学部非常勤講師)。 対象：高校2年生　1時限8:50～9:55　12人　2時限10:05～11:10　18人	30
3	2018年11月3日 (土・祝) 10:00～15:00	ψ(プサイ)郵便局の設置 場所：少年少女の星 COSMOS (下諏訪町御田町・町営四ツ角駐車場)	
4	2018年11月15日(木) ～11月21日(水) 17:00～20:00	松フェス(松澤宥フェスティバル) 場所：マスヤゲストハウス(長野県諏訪郡下諏訪町平沢町314)	
5	2018年11月18日(日) 13:00～15：30	トークイベント「松澤宥を語る」 場所：マスヤゲストハウス(長野県諏訪郡下諏訪町平沢町314) 〈プログラム〉 ○宮坂了作(美術家) 「松澤宥のアートを語る」 ○青木英侃 「下諏訪アーティストの交流を語る」 ○松澤桂子・佐々木梓 「祖父・松澤宥を語る」 司会：石埜穂高 ゲスト：中島由夫(アーティスト)	35
6	2019年2月16日(土) 13:30～16:30	シンポジウム「松澤宥アーカイブの現状と活用」 場所：下諏訪町立諏訪湖博物館・赤彦記念館 〈プログラム〉 13:30～15:00　第1部　松澤宥とアーカイブに関する報告 ①松澤春雄(一般財団法人松澤宥プサイの部屋 代表理事) 「松澤宥アーカイブの概要」 ②谷新 (美術評論家・前宇都宮美術館館長) 「松澤宥の人と芸術―出会いの頃からの思い出」 ③嶋田美子(アーティスト、60年代美術研究) 「Expose: 松澤宥アーカイブについて」 ④橘川英規 (東京文化財研究所 研究員) 「松澤宥アーカイブの芸術史研究への活用―1951 年に諏訪市で開催されたふたつの前衛芸術イベントを例に」 ⑤平賀研也(県立長野図書館館長) 「アーカイブの活用を考える。松澤宥アーカイブのこれから」 休憩(15分) 15:15～16:30　第2部　パネルディスカッション「松澤宥アーカイブの活用について」 コーディネーター　松本透(長野県信濃美術館館長) パネリスト：第1部報告者	72

事業①　松澤宥ゆかりの地「泉水入瞑想台」フィールドトリップ

事業②　諏訪清陵高校　特別授業

事業③　ψ（プサイ）郵便局の設置（下諏訪町御田町「少年少女の星 COSMOS」）

事業④　松フェス（松澤宥フェスティバル）

事業⑤　トークイベント「松澤宥を語る」

事業⑥　シンポジウム「松澤宥アーカイブの現状と活用」

広報事業

1　信濃毎日新聞「金曜アート」連載一覧

NO.	掲載日	筆者	タイトル
1	4/6	松井　正	ハリー・K・シゲタ「渦巻」1948年
2	5/4	大野　織江	清水多嘉示「躍進」1960年
3	6/1	木内　真由美	池田満寿夫「真昼の人々」1955年
4	7/6	福士　恵子	奥村土牛「白日（ひまわり）」1949年
5	8/3	田中　正史	倉田白羊「冬景色」1937年
6	9/7	松本　透	丸山晩霞「初夏の志賀高原」1909年頃
7	10/5	青山　由貴枝	畦地梅太郎「水」1973年
8	11/2	赤津　將之	太宰春台「呂氏春秋序」制作時期不詳
9	12/7	鈴木　幸野	川上冬崖「ヒポクラテス」制作年不詳
10	1/4	松井　正	榊原澄人「黒姫と竜」2016年
11	2/1	松浦　千栄子	東山魁夷「落葉松」制作時期不詳
12	3/1	瀬尾　典昭	足立源一郎「北穂高南峰」1952年

2　商工会連載だより「芸術散策～名作に触れる～」掲載一覧

NO.	掲載日	筆者	タイトル
1	4月号	福士　恵子	水上民平「裏の沢の春」1967年
2	7月号	瀬尾　典昭	吉田博「白馬鎗岳」1929年
3	10月号	松本　透	オノサト・トシノブ「61-A」1961年

3　新美術館開館に向けての調査（広報）

NO.	掲載日	調査対象	調査内容
1	9/27	富山県美術館	リニューアルに関する運営方法・ミュージアムショップ
2	10/3	京都国立近代美術館	東山魁夷展・特設ショップ・施設見学
3	10/20	金沢21世紀美術館	オープンまるびぃ・施設見学
4	10/23	国立新美術館	東山魁夷展オープニングセレモニー運営方法
5	10/26	東京都美術館	企画展オープニングセレモニー運営方法・特設ショップ・プレス対応
6	11/28	上田市立美術館	展覧会広報の運営方法・ミュージアムショップ・オリジナルグッズ
7	12/6	名古屋市美術館	企画展オープニングセレモニー運営方法
8	12/10	安曇野ちひろ美術館	ミュージアムショップ・オリジナルグッズ
9	12/27	おぶせミュージアム	展覧会広報の運営方法・ミュージアムショップ・オリジナルグッズ
10	1/11	東京都現代美術館	ミュージアムショップ・カフェ・リニューアルに関する運営方法
11	2/1	宮城県美術館	カフェ・ミュージアムショップ選定方法
12	3/12	北野美術館	リニューアルオープンセレモニー運営方法
13	3/21	福岡市美術館	リニューアルオープンに関する運営方法・ショップ・プレス対応

信美休館通信

信濃美術館ニューズレター「信美休館通信」は信濃美術館本館が、2021年のリニューアルオープンを目指し全面建替え中の休館中に発行。

信美休館通信0号　　10月1日発行

（表）
■信濃美術館建設レポート
■館長だより
（裏）
■美術館のお仕事
■あなたも美術がわかる？学芸員の本棚
■美術館職員が考える、意外と現実的！新しい美術館こんなことしたい！
■原稿執筆：（K.O.）奥村賢三、（M.T.）田中正史、（M.K.）木内真由美、（O.A.）上沢修、（C.M.）松浦千栄子、（M.T.）竹沢未央、（O.O.）大野織江、（Y.A.）青山由貴枝、（K.F.）福士恵子、（M.A.）赤津將之、（M.W.）和田貢、（K.M.）水野海里、（M.Y.）養田真由加
■編集：松浦千栄子

休館中だけお届けする
Vol.0（ゼロ）
信美休館通信

祝？「信美休館通信」刊行！

突然ですが、皆さん！長野県信濃美術館は現在、休館中です。この度、2021年のリニューアルオープンを目指し、建物を全面的に建て替えることになりました（拍手）。

1966年の開館から、善光寺の東隣に建って半世紀超。所蔵品数は4千点を超え、1990年開館の隣接する東山魁夷館とともに、これまで370万人以上の方にお越しいただきました。

そんな歴史ある当館がついに、念願の、待ちに待った、全面的に建て替えられる日が来たのです。古い美術館も印象的で価値ある建築でしたが、老朽化や、展示室の環境、収蔵スペースの限界など、様々な問題を抱えていました。今回やっとこさ建替えられることになった長野県信濃美術館。こんな機会に立ち会えることなんて、そうそうない。周期的にはほとんど皆既日食みたいなこの出来事を、みんなで目撃しましょう！

美術館が新しくなるまでの3年間、作品はどこいっちゃったの？新しい美術館はどんな建物になるの？ていうか、美術館の人たちは何してるの？え、ちゃんと働いてんの？という皆様の疑問を、普段は紹介できない美術館の裏側や、別に聞かれてもないことも合わせて、一方的にお届けします。休館中のみ発行予定。年4回発行（※目標！）。「信美休館通信」はじまりはじまり。（C.M.）

❖ 館長だより
「美術館への道」

松本透（長野県信濃美術館 館長）

©相澤デザイン室

1989年、ベルリンの壁解体の映像を目の当たりにして、東西二色に塗り分けられた世界地図がひとつの色になる夢を見た人も多いでしょう。インターネットの普及がこの幻想に拍車をかけました。「グローバリズム」（地球の一体化）が90年代の標語になったのもうなずけます。

しかし今になってみれば、情報・金融・物流のグローバリゼーションの最大の功績は、わたしたちを、文化や歴史の地域性や地域多様性の発見へと導いたことにあるのではないでしょうか。隣りの町、隣りの県、隣りの国とのあいだに文化的な違いが根づよく存在するからこそ、そうした異質性をじゅうぶんに理解したうえで、互いに良いところを学び合うべきではないか —— というわけです。

美術や文化の多様性は、地域の違いに尽きるものではありません。年齢や世代の違いや、男性と女性の違い、あるいは芸術家、学芸員、来館者といった立場や職業の違いもあるでしょう。

2021年にオープンする新しい美術館が、そういったさまざまな多様性・異質性の理解を通じて相互に学び合う場になることを願っています。

新しい信濃美術館は基本設計が終わり、この冬には具体的な実施設計が完了します。新美術館への道のりはまだまだですが、建物だけでなく、開館後の事業プログラムなどについても次号以降でお知らせしていきます。

信濃美術館建設レポート

毎号、長野県信濃美術館の建替えの進行状況などについて、ご紹介します。

2018年4月から休館に入り、数ヶ月経った信濃美術館。工事着工を待つ現在はただひとり、城山の地で静かな時を過ごしています。

現在、信濃美術館は事務室を長野県南俣庁舎に移転して、活動しています。

美術館の引っ越しに向けて動き出したのは今から1年前。東山約960点、信濃美術館約4000点の作品、50余年分の蓄積された膨大な資料。本の山に什器や備品の数々・・・。職員たちは、展覧会を行いながら引越しに当たり、通常業務と平行しての移転作業は困難を極めました。エレベーターもない、階段や段差が多い、荷物が多い時はもう大変。汗だくになりながらの搬入作業。通常開館時にも、冬には恒例の雪かき、外の看板は老朽の為かなかなか開かない。職員にとっても非常に使いにくい美術館だったことは間違いありません。しかしそれでも彼（彼女）の事は憎めない。

城山公園を横切ると見える懐かしい姿に胸が熱くなります。このニュースレターが発行される頃には、もうあの古い美術館の建物を見る事が出来なくなっているかもしれません。

美術館含め、城山公園一帯はあと数年で様変わりします。新美術館では開かれた美術館を目標に、より多くの方にお越しいただけるよう、施設の具体的な内容を決める実施計画を進めています。生まれ変わる美術館を楽しみにしていてください。（M.T.）

休館中の信濃美術館　もうすぐ解体工事（2018年6月時点）

仮事務所遠望　南側より市内南東を望む

美術館のお仕事

01 長野県信濃美術館 副館長 奥村賢三 Kenzo Okumura

Q1 美術館に来る前は何をしていましたか？

私が、県職員在職時に1998年開催の長野パラリンピックの業務に従事していた関係で、長野県社会福祉事業団が管理・運営する長野県障がい者福祉センター（通称：サンアップル）で、障がい者スポーツ関係の仕事をしていました。

Q2 美術館での楽しいこと・たいへんなことは？

楽しいことは、私の子供と同年代の若い職員と一緒に仕事ができること。大変なのは、美術館の改築・改修に伴う業務が通常時に比べて多くなっている事ですね。

2016年3月県職員（県立歴史館副館長）を退職後、長野県社会福祉事業団をへて、2017年4月から現職。日々の楽しみは、毎日の晩酌（いつもは焼酎のウーロン茶割、行きつけのお店は内緒）

※このコーナーでは、美術館で働く職員や、美術館の業務に欠かせない業者さんなど、美術館に関わる様々な職業の方をご紹介します。

あなたも美術がわかる？ 学芸員の本棚

『夜の木』

画家：バッジュ・シャーム、ドゥルガー・バーイー、ラーム・シン・ウルヴェーティ
発行：ターラー出版社　日本版第7刷／2018年発行
翻訳／青木恵都　発行／東京吉祥寺・タムラ堂

瀬尾典昭（長野県信濃美術館　研究主幹）

今日は、世にも美しい一冊の本を紹介しましょう。
『夜の木』（原題はThe Night Life of Trees）という本です。B4判くらいのやや大ぶりの絵本で、原書はインドのターラー出版社から2006年に発刊されました。シャーム、バーイー、ウルヴェーティという三人のインド人画家が、神話や伝説をもとに描いたもので、夜になると本性をあらわすという聖なる木の物語です。古代からさまざまな民族や地域で、崇拝と畏敬の対象となっていた、いわゆる「生命の木」です。
頁をめくるごとに、不思議な木が次々にあらわれてきます。そのプリミティブでありながら、洗練されたモダンな表現に目をみはります。シルクスクリーンという版画によって一頁ずつ刷っており、黒く染めた特別な手漉きの紙が、夜の神秘性にぴったりです。
そしてこれは、絵としての世界観の幻想性のみならず、「本」としての見事さにやられます。大量印刷では不可能な色彩の艶やかさ、手に取ったときの紙の肌触り、そして匂い立つような版画インクの様までも幸せな心地にしてくれます。
私の手元にある本は、東京・タムラ堂から出された日本語版第7刷で、エディションは刷り部数2000部の内の880番です。日本版は増刷ごとに表紙の絵を変えており、作る人たちも楽しんでいるようです。この版は、バーイーが描いた《飲みすぎにご用心》という作品です。この木の花からは人々を病から救う薬を作ることができるというもので、しかし、この薬、飲みすぎると鼠や虎や鳩に姿かたちが変わってしまうというやっかいな代物です。
今の時代に、いやこんな時代だからこそ意味があるのでしょうが、これほど贅沢な本を作ろうと思った人たちに敬服します。そして何より、少し決心すれば買うことのできる値段なのが嬉しい。

※学芸員が読んでいる本、ごく一部ですがご紹介していきます。

Voice 美術館職員が考える、意外と現実的！ 新しい美術館こんなことしたい！

●絵画で水族館。海なし県の海への憧れはすごい。照明を青色にし、絵画にスポットライトをあてる。壁は青。海の生き物や、海の絵が青い壁に飾られていたらきっとワクワクするはず。美術館は静かにしなければいけない、ちょっと敷居が高いと思っている方にも、身近に感じてもらえるのでは。（M.Y.）

●新しい美術館は作品を見て楽しむだけでなく、人々が集う交流の場として、また思い思いの時間を過ごす憩いの場として気軽にご利用いただけます。ご来館いただく方々からまた来たいと思っていただくことを目指して、利用者視点での行動を心掛けながら開館に向けて準備していきたいと思います。（K.M.）

●館内に臨時託児所を設けて、子どもを預けて鑑賞やカフェをゆっくり楽しめる日をつくりたい。月1回、あるいは各展覧会会期中に2回くらい実施できればいいなぁ。新しい美術館は、あらゆる層の方々が足を運びやすい場所にしたい！（O.O.）

◎ 信濃美術館主催イベント情報 2018.10－2019.3

展覧会

平成30年度長野県信濃美術館移動展
平成31（2019）年2月7日［木］－19日［火］
長野県飯田創造館
イベント：2/9［土］、2/17［日］13:30～ギャラリートーク

平成31（2019）年3月9日［土］－17日［日］
ホクト文化ホール（長野県県民文化会館）
イベント：3/9［土］13:30～ギャラリートーク

長野県信濃美術館所蔵名品展
平成30（2018）年12月1日［土］－24日［月・祝］
小諸高原美術館

平成31（2019）年2月23日［土］－3月31日［日］
信州高遠美術館

※各会場、初日11:00から講演会を開催。
参加費無料（但し、観覧料は必要）信州高遠美術館は要申込み。
申込は直接、信州高遠美術館へ。

ワークショップ

アートあそびの時間
（権堂イーストプラザ市民交流センター）
参加費500円。各回定員20名。各開催月の1日より権堂イーストプラザ（026-234-2906）にて申込受付開始。

1 11月24日［土］10:00～
「アドベントカレンダーをつくろう！」
2 1月26日［土］10:00～
「本物そっくり！？パフェをつくろう！」
3 3月23日［土］10:00～
「オリジナルマグネットをつくろう！」

こんなところで見られます！所蔵品貸出情報

生誕110年 東山魁夷展
国立新美術館（東京）　平成30（2018）10/24－12/3

生誕110年記念 **夢を奏でる－東山魁夷とメルヘン**
香川県立東山魁夷せとうち美術館（香川）
開催中～11/11

丸山晩霞 生誕150年記念展
丸山晩霞記念館（長野県東御市）
平成30（2018）10/13－11/25

特別展「巡礼への道のり―東山魁夷・平山郁夫―」
市川市東山魁夷記念館（千葉）
平成30（2018）12/8－平成31（2019）1/27

原稿執筆・（K.O.）奥村賢三、（M.T.）田中正史、（M.K.）木内真由美、（O.A.）上沢修、（C.M.）松浦千栄子、（M.T.）竹沢未央、（O.O.）大野織江、（Y.A.）青山由貴枝、（K.F.）福士恵子、（M.A.）赤津晴之、（M.W.）和田賢、（K.M.）水野海里、（M.Y.）曩田真由加　編集・松浦千栄子　デザイン・中沢デザイン事務所（中沢定幸）　印刷・中外印刷株式会社
発行・長野県信濃美術館　〒380-0917 長野市大字稲葉字八幡田沖2413-11（休館中事務所）TEL：026-232-0052 FAX：026-232-0050
HP：http://www.npsam.com/
発行日・2018年10月31日

長野県信濃美術館

◉ 平成30年度

館報 No.21

編集・発行　平成31（2019）年4月30日
長野県信濃美術館
〒380-0801　長野市箱清水1-4-4
TEL 026-232-0052
長野県信濃美術館事務所
〒380-0917　長野市大字稲葉字八幡田沖
2413-11 長野県南俣庁舎内

© 2019 Nagano Prefectural Shinano Art Museum